

文化財保存活用地域計画策定懇話会 次第

令和4年10月20日(木)
静岡市役所 本館4階 44会議室

1 開 会

2 委員・事務局紹介

3 座長選出

4 懇話事項

(1) 文化財保存活用地域計画について

- ① 文化財保存活用地域計画について(文化庁資料)…【資料1】
- ② 静岡県文化財保存活用大綱について(静岡県資料)…【資料2】

(2) 静岡市文化財保存活用地域計画について

- ① 静岡市における本計画の位置づけについて…【資料3】
- ② 計画策定スケジュールについて…【資料4】
- ③ 目次案について…【資料5】

(3) 静岡市の歴史について

- ① 静岡市の歴史の概要について…【資料6】

(4) 静岡市の文化財について

- ① 指定・登録文化財について…【資料7】

休憩

(5) 静岡市文化財行政の主な取り組みについて

- ① 静岡市の主な取組について…【資料8】
- ② 文化財サポーター制度について…【資料9】
- ③ 登呂・三保・歴博のボランティアについて…【資料10】

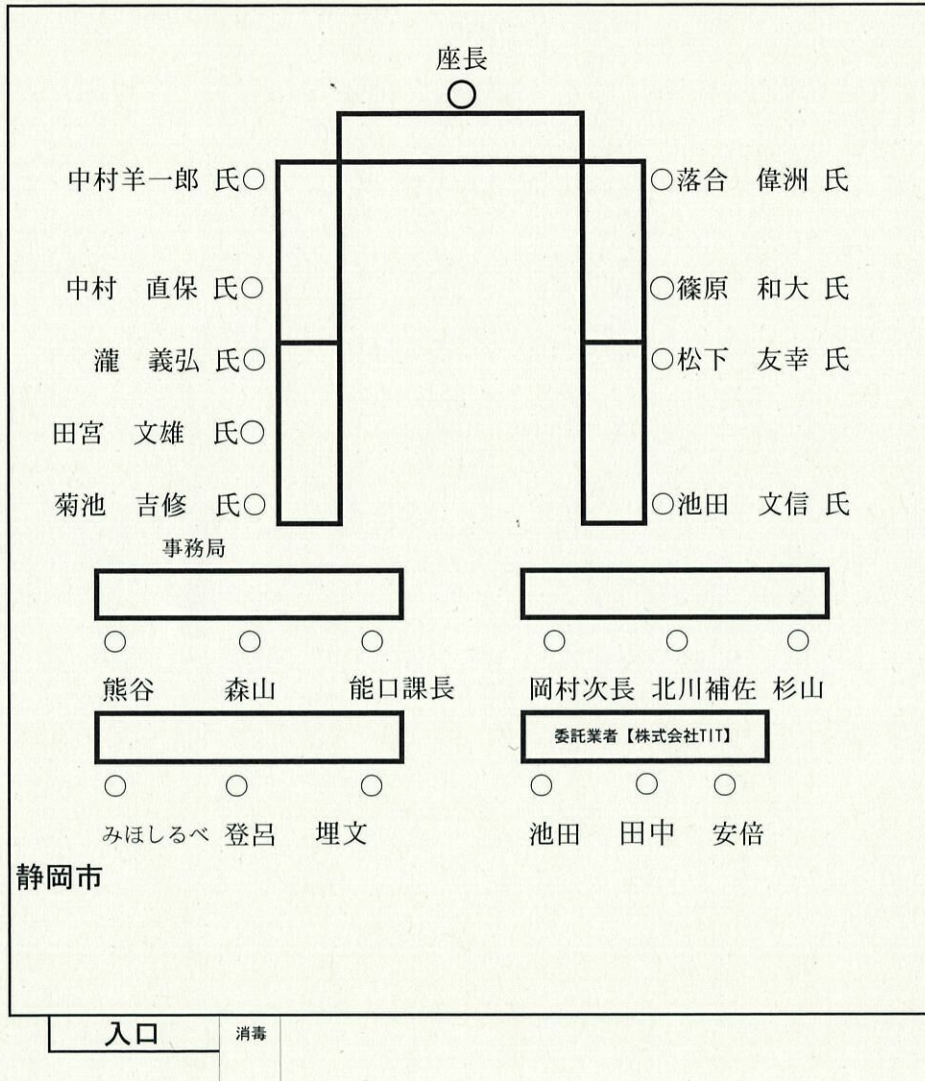
(6) 庁内及び庁外における地域計画作成時の取り組みについて

- ① 文化財リスト化の現状報告…【資料11】
- ② 庁内ヒアリング調査について(R4～)…【資料8】
- ③ その他の団体に対するヒアリング調査予定について(R4～)…【資料12】
- ④ 市民ワークショップ調査予定について(R5～)…【資料13】

5 閉 会

令和4年度 静岡市文化財保存活用地域計画策定懇話会 席次表

日時 令和4年10月20日(木) 13時00分から15時00分
会場 静岡市役所本館4階 44会議室



文化財保存活用計画策定懇話会 委員名簿

氏名	分野	所属	役職等
中村 羊一郎	民俗／歴史全般	静岡市歴史博物館	館長
落合 偉洲	文化財所有者	静岡県文化財保存協会	会長
篠原 和大	考古	静岡市文化財保護審議会	会長
松下 友幸	商工業	静岡商工会議所	常務理事
池田 文信	観光	するが企画観光局	専務理事
中村 直保	市民	静岡市自治会連合会 (駿河区自治会連合会 会長)	会長
瀧 義弘	市民	静岡市自治会連合会 (葵区自治会連合会 会長)	副会長
田宮 文雄	市民	静岡市自治会連合会 (清水区自治会連合会 会長)	副会長
菊池 吉修	文化財行政	静岡県文化財課 文化財地域支援班	班長

地域総がかりでつくる 文化財保存活用 地域計画

—歴史文化で魅力ある地域へ—

文化財保存活用地域計画の関連法令

文化財保存活用地域計画の目的は、文化財の保存及び活用を促進し、地域の歴史文化を継承するとともに、地域の発展に寄与することにある。文化財保存活用地域計画は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。

文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。

文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。

文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。

文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。文化財保存活用地域計画の策定は、文化財の保存及び活用を促進するための重要な役割を果たす。



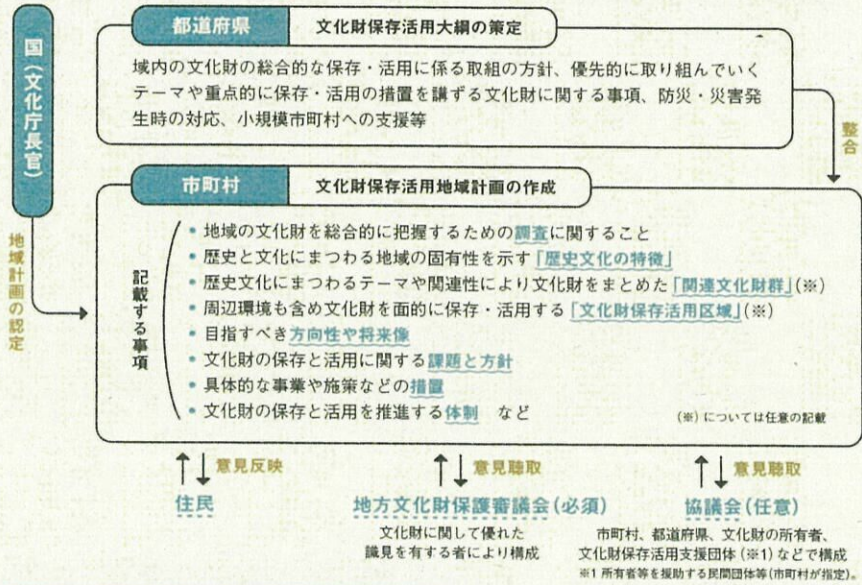
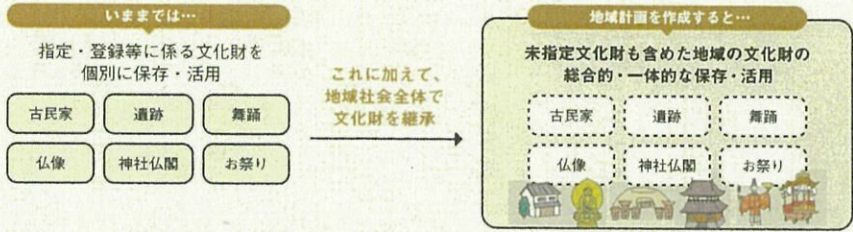
文化庁

お問い合わせ
文化庁 地域文化創生本部
〒605-8505
京都市東山区東大路通松原上る三丁目異沙門町43-3
TEL 075-330-6730 e-mail bunkakanko@mext.go.jp

01. 文化財保存活用地域計画とは？

文化財保存活用地域計画は、市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画です。市町村の総合計画の下に体系づけられ、文化財保護行政の中・長期の方向性を示すマスタープランと短期に実施する具体的な事業を記載するアクションプラン、両方の役割を担います。地域の歴史や文化にまつわるコンテキストに沿って多様な文化財を俯瞰し、総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特徴をいかした地域振興に資するとともに、確実な文化財の継承につなげることができます。

この計画を作成・実施することにより、住民・民間団体・文化財部局・庁内関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、いかし、伝える体制の構築を図り、文化財の存続につなげていくことが期待されています。



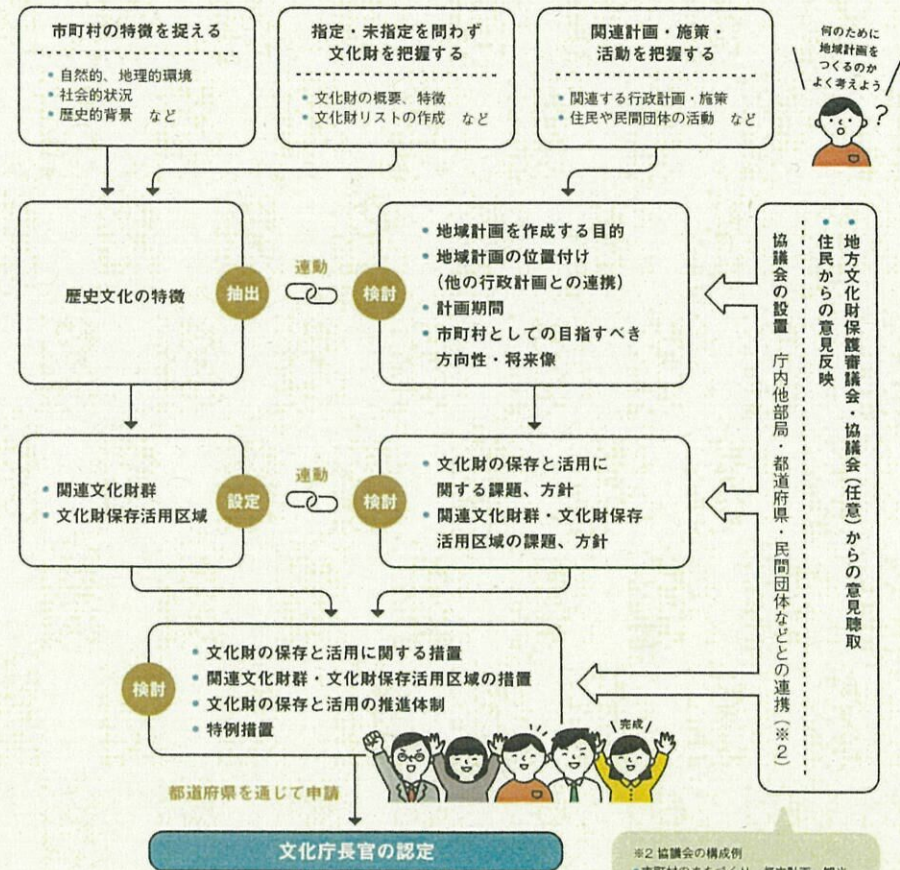
認定市町村が感じた地域計画作成のメリット

- 文化財保護におけるビジョンの共有
- 中・長期的な方針や具体的な事業の可視化による計画的な行政運営
- 文化財保護行政への他部局・上層部の理解促進
- 地域計画作成時の連携体制が事業計画の推進に寄与
- 住民、関係団体、庁内各課、他地域などとの連携強化

- 作成に伴う調査での文化財及び類型を超えた文化的遺産の把握
- 関連文化財群の設定による地域住民の文化財への興味喚起と交流活性化
- 補助率加算などの国庫補助事業における優遇

地域計画認定市町村へのアンケート(2020年10月)より

02. 文化財保存活用地域計画 作成の流れ



03. 認定の基準

文化庁長官による認定には次に掲げる要件を満たしている必要があります。

- 文化財保存活用地域計画の実施が当該市町村の区域における文化財の保存及び活用に寄与するものであると認められること
- 円滑かつ確実に実施されると見込まれるものであること
- 文化財保存活用大綱が定められているときには、当該大綱に照らし適切なものであること

認定を受けた場合の特例措置

- 国の文化財登録原簿への登録の提案
- ボトムアップでの未指定文化財の保護の推進
- 町村への一部事務の権限移譲
- 認定町村における円滑な計画の実施

04. 文化財を総合的・一体的に把握する方法

—歴史文化、関連文化財群、文化財保存活用区域の考え方—

歴史文化の特徴に基づき関連文化財群や文化財保存活用区域を設定することによって、域内に散在している文化財を俯瞰した保存と活用のプランニングが可能になります。まちの将来像の実現に向けて歴史的・文化的・地域的な関連性やテーマによりまとまりとして捉えた文化財群、文化財が集積しているエリアとその周辺環境を面的に捉えた区域を設定し、歴史文化をいかした文化財の総合的・一体的な保存と活用につなげましょう。

歴史文化とは

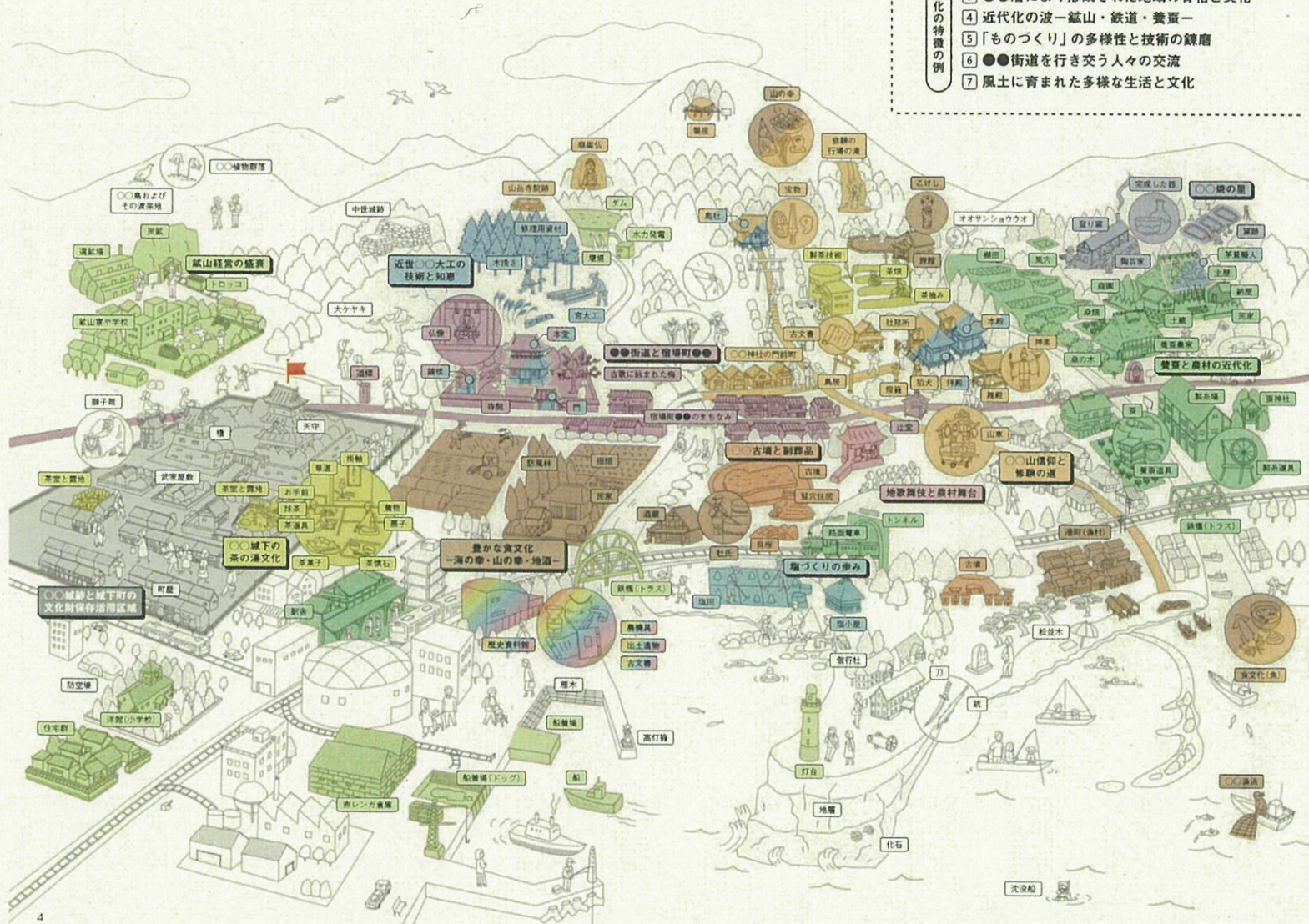
地域に固有の風土の下、先人によって生み育まれ、時には変容しながら現代まで伝えられてきた知恵・経験・活動等の成果及びそれらが存在する環境を総合的に把握した概念。地域の歴史や文化にまつわるコンテキスト。歴史文化の特徴は、地域らしさ、地域の特徴をあらわす。

- 歴史文化の特徴の例
- 1 ○○国の繁栄
 - 2 ●●信仰により特徴付けられる信仰の固有性
 - 3 ●●藩により形成された地域の骨格と文化
 - 4 近代化の波—鉱山・鉄道・養蚕—
 - 5 「ものづくり」の多様性と技術の錬磨
 - 6 ●●街道を行き交う人々の交流
 - 7 風土に育まれた多様な生活と文化

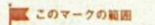
関連文化財群とは

指定・未指定に関わらず多種多様な有形・無形の文化財を、歴史文化に基づく関連性、テーマ、ストーリーによって一定のまとまりとして捉えたもの。群を構成する複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用するための枠組。まとまりを持って扱うことで、未指定文化財についても構成要素としての価値付けが可能となり、また、相互に結びついた文化財の多面的な価値・魅力を明らかにすることが出来る。

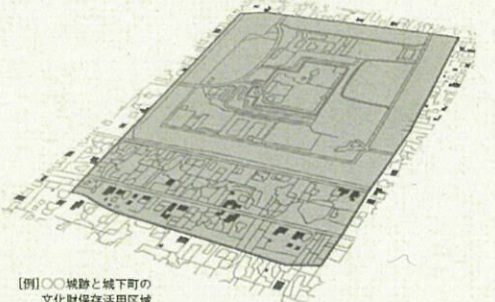
- 関連文化財群の例
- 1 ○○国の繁栄
 - 1-1 ○○古墳と副葬品
 - 2 ●●信仰により特徴付けられる信仰の固有性
 - 2-1 ○○山信仰と修験の道
 - 3 ●●藩により形成された地域の骨格と文化
 - 3-1 ○○城下の茶の湯文化
 - 4 近代化の波—鉱山・鉄道・養蚕—
 - 4-1 鉱山経営の盛衰
 - 4-2 養蚕と農村の近代化
 - 5 「ものづくり」の多様性と技術の錬磨
 - 5-1 塩づくりの歩み
 - 5-2 近世○○大工の技術と知恵
 - 5-3 ○○焼の里
 - 6 ●●街道を行き交う人々の交流
 - 6-1 ●●街道と宿場町●●
 - 7 風土に育まれた多様な生活と文化
 - 7-1 地歌舞伎と農村舞台
 - 7-2 豊かな食文化—海の幸・山の幸・地酒—



文化財保存活用区域とは



文化財が特定の範囲に集積している場合に、当該文化財(群)をその周辺環境も含めて面的に保存・活用するために設定するもの。域内の地区特性や歴史文化に応じて市町村が独自に設定する戦略的な計画区域。多様な文化財が集まる区域を設定して保存・活用を図ることで、魅力的な空間の創出につながる事が期待される。



【例】○○城跡と城下町の文化財保存活用区域

05. 文化財の総合的・一体的な保存と活用の取組

都道府県の文化財保存活用大綱や市町村の総合計画などを勘案し、歴史文化や地域の実状を踏まえた上で文化財保護行政として、まちの将来像を描きましょう。その実現に向けて、まちが抱える課題を見出し、文化財を総合的・一体的に把握する方法も用いながら、ロードマップとなる中・長期の方向性を定め、方針をたてる必要があります。その上で、住民や民間団体、関係部局などと連携をはかり、計画期間内に実施していく措置の具体的な内容を記載します。措置については、円滑かつ確実な実施のため主体やスケジュールの明示が求められます。また、措置数が多い場合、重点事業を設定するなど優先順位をつけることも有効です。

域内全体を対象に実施する措置

- 文化財保護推進委員制度の創設
- 文化財保存活用支援団体制度の創設
- 古文書の所在調査
- 文化財ハザードマップの作成
- 文化財防災マニュアルの作成
- 文化財データベースの作成、HP・アプリの開発
- お宝掘り起こし住民ワークショップ
- 地域遺産制度の創設
- エコミュージアム構想の検討
- 境界集落における文化財の総合的記録
- 域内回遊を促進する交通施策検討
- オーバーツーリズム緩和施策の検討
- 地名の由来を活かした事業の検討

5-2 近世〇〇大工の技術と知恵

[方針]
近世〇〇大工の技術を伝える歴史的建造物の保存をはかるために、文化財保存のための種々の技術の継承と原材料の確保に取り組む。また、伝統技術の情報発信と普及をすすめる。

[措置]

① 文化財を保存するために必要な技術・材料の調査	② 〇〇寺鐘樓の解体修理
③ 大匠材確保のための植樹	④ 大工道具製作技術保持者への支援
⑤ 植皮採取林の保全	⑥ 伝統技術保持者への顕彰制度の創設
⑦ 伝統木工技術の後継者育成	⑧ 左官壁と畳の復興
⑨ 大工の技術体験イベント	

7-1 〇〇山信仰と修験の道

[方針]
過疎化や少子高齢化などにより維持管理が困難な〇〇山信仰にまつわる文化財群の保存に係る事業を実施し、当地に根付いた信仰文化の歴史的価値の継承をはかるともに、情報発信に努める。

[措置]

- 〇〇神社社屋の屋根修繕・防災設備の設置
- 〇〇古文書の修繕
- 〇〇古文書の調査
- 社務所棟の修繕及び高精細レプリカ作成
- 収蔵庫の改修
- 境内古本市(ユニークベニュー)の開催
- 舞殿での雅楽の演奏会(ユニークベニュー)
- 山車の修繕
- 行事・祭礼の調査およびデジタル記録作成
- 修験道ルートの確認と散策路整備
- 修験道ルートのサイン整備
- 参詣スタンプアプリの開発
- 春と秋の文化財の特別公開
- 古文書を基盤に食文化の還元

7-2 美置と農村の近代化

[方針]
地域おこし協力隊と住民が連携し、美置の近代化に伴い隆盛した農村の魅力を生かして、賑わいを創出する。

[措置]

- 家住宅土間の修繕
- 家住宅庭園の整備
- 家住宅の農泊への改修
- 棚田のライトアップ
- 風穴のサイン整備
- ボランティアによる桑畑の清掃等
- 家住宅で地域おこし協力隊による郷土料理レストラン解説
- 美置資料館の整備
- ガイド誌所・インフォメーションセンター整備
- 糸紡ぎ体験

8-1 〇〇街と宿場町

[方針]
住民や寺院と連携し、文化財を活用した観光を進め、地域振興を図る。

[措置]

- 〇〇街道の美観化・サイクルードの整備
- PFIで旅館を宿泊施設に改修・運営
- 〇〇家住宅を自給自足泊まる宿泊施設に改修
- 〇〇家住宅でのブルーワーカー・カフェ
- レンタサイクルの整備
- 仏像の詳細調査と修理
- 寺院での座禅体験・コンサート等(ユニークベニュー)
- まちなみをいかしたアートフェスティバルの開催
- 特産品をいかした土産物の開発と販売
- 石地蔵の修復
- 解説板の多言語化
- ボランティアガイドの育成
- 歴史遺産の開催・副読本の作成

7-2 豊かな食文化 一海の一山の一酒

[方針]
地域の魅力を再発見し、豊かな食文化及び関連する習俗の普及発信に取り組む。

[措置]

- フェノロジーカレンダーの作成
- 温泉街を巡るコースの造成・モニターツアーの実施
- 郷土食・名物の調査
- 漁村レストランの開設
- 漁労習俗に関する記録作成
- 酒づくりに関するパンフレットの作成
- 酒蔵の公開・レストランの出店
- 旧酒名・ラベルをブランド化した酒の開発
- 田園オーナー制度による米づくり

7-1 地歌舞伎と農村舞台

[方針]
地歌舞伎と農村舞台を一体として存続を図る。

[措置]

- 農村舞台の耐震補強
- 地歌舞伎衣装の縫い
- 地歌舞伎の公演
- ARグラスによる歌舞伎の解説
- 子ども歌舞伎の後継者育成

5-1 〇〇古墳と副葬品

[方針]
調査等で明らかになった情報を郷土学習にいかし、理解促進につなげ、郷土愛を醸成する。

[措置]

- ドローン・VRによる古墳観覧映像の作成
- 文化財副読本の作成
- 学生を対象とした発掘体験
- 3Dスキャナによる副葬品のレプリカ作成
- 住民ガイドの育成
- 調査成果のアーカイブ化
- 専門職による出土調査

3 重点事業

城跡と城下町の文化財保存活用区域

[方針]
城跡及びその周辺の歴史的なまちなみの整備とともに伝統的な生活文化の振興をはかり、それらをいかして観光の促進につなげる。

[措置]

- 石垣の整備
- 馬場の整備
- 天守閣資料館の展示更新
- 歴史的建造物の調査と修理助成
- 町家の分館型ホテルへの改修
- 土蔵をカフェに改修
- 景観規制
- 無電柱化と道路美観化、歩道整備
- 屋外広告物規制
- トイレ洋式化事業
- 〇〇家の茶室と露地の整備
- 〇〇家の歴史資料の整理と調査
- 簾付け教室の開催
- 俳石料理教室の開催
- 茶事の開催
- 獅子舞の記録作成
- 城下町の武家文化体験(リビングヒストリー)
- サインの多言語化
- DMOと連携した散策マップの作成
- 著名人によるSNSでの魅力発信
- ボランティアガイドの育成

*措置は、全域を対象に実施するもの、関連文化財群や文化財保存活用区域ごとに実施するものなどに分け、それぞれ記載します。図の措置は一例です。

静岡県文化財保存活用大綱とは

【大綱序章】

平成30年に改正された文化財保護法に基づき、今後の静岡県における文化財の保存と活用の基本的な方向性を静岡県文化財保存活用大綱としてとりまとめました。

県内文化財を取り巻く社会状況

〈文化財を取り巻く情勢〉

- 過疎化・少子高齢化の進行
- 文化財所有者の高齢化
- 文化財の経年劣化の進行
- ➔ 文化財散逸、滅失の危機

〈地域文化財の掘り起こし、観光やまちづくりへの活用〉

- 市町による未指定文化財の把握
- 市町と住民が連携した文化財関連イベントの開催
- 観光・まちづくり行政と連携
- ➔ 地域活性化への文化財の役割の増大

後世に伝えよう静岡県の文化財

【大綱序章】

文化財は、我が国の様々な時代背景の下、人々の生活や風土との関わりから生み出され、現在まで伝えられてきた地域の宝です。

【文化財の価値と重要性】

- 我が国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた多様な文化財は、**日本文化全体の豊かさの基盤**
- 歴史、文化の正しい理解に不可欠であり、将来の文化の向上発展の基礎をなすもの**
- 各地域の歴史や文化を認識させ、**地域の誇りとして、コミュニティの維持・発展に不可欠**
- 観光誘客を図る上での地域資源としての活用が期待されている。

多彩な文化財に満ち溢れた静岡県

【大綱第1章】

静岡県は、変化に富んだ地形に恵まれるとともに、東西文化が交流し、我が国の数々の歴史の舞台となっています。

こうしたことから、本県には有形、無形の多彩な文化財が満ち溢れています。

《変化に富んだ地形》

- 富士山や赤石山脈等、3,000m級の山地が連なり、富士川、安倍川、大井川、天竜川等が南に流れ、下流域に沖積平野が発達
- 日本列島を東西に分けるフォッサマグナが南北に伸び、南には日本で最も深い駿河湾が湾入

《東西文化の交流》

- 東海道の中に位置し、人的・物的交流が活発
- 長い海岸線を持ち海上交通も古くから盛ん

《歴史の舞台の例》

- 源頼朝の伊豆国での挙兵
- 徳川家康の大御所政治
- 黒船来航、日米和親条約

静岡県文化財保存活用大綱

概要版

美しい「ふじのくに」の文化財を県民総がかりで守り、
誰もが、親しみながら、未来へつなぐ。

令和二年三月
静岡県

基本理念「美しい“ふじのくに”の文化財」を県民総がかりで守り、誰もが、親しみながら、未来へつなぐ

基本方針

【大綱第2章】

基本理念の下、本県が目指す文化財の保存・活用のあるべき姿を実現するために、3つの基本方針を一体的かつ調和的に進めていきます。

■目指す姿

- 地域の宝が未来に確実に継承されている
 - ・県内の文化財の価値が正しく評価され、すべての文化財が将来にわたって適切に保存が図られている。
- 文化財を担う人材が各地域で活動している
 - ・文化財の価値を理解し、文化財を愛し保存と活用の両面で取組の中心となる人材が各地域で活動している。
- 住んでよし、訪れてよし、の好循環に貢献している
 - ・県内の文化財の存在と価値が地域内外に知れわたり、地域住民の誇りとなるとともに、多くの方が参加・体験に訪れ、地域の社会・経済に貢献している。

■県の取組の方向性

“地域の宝が確実に継承されている”姿の実現

基本方針1 **文化財の確実な保存**

文化財の総合的把握、指定文化財の計画的修理・整備

“文化財を担う人材が各地域で活動している”姿の実現

基本方針2 **文化財を支える多様な人材の育成**

専門人材の育成、地域で文化財を支える人材の育成等

“住んでよし、訪れてよし、の好循環に貢献している”姿の実現

基本方針3 **文化財の効果的な活用**

地域資源としての効果的な情報発信、観光やまちづくり等との連携促進

■類型別方向性

有形・無形・民俗・記念物等の種類ごとの特徴と保存・活用の方向性



願成就木造阿彌陀如来坐像
(伊豆の国市 国宝彫刻)



龍潭寺庭園 (浜松市 国指定名勝)



三熊野神社大祭の舟行事
(掛川市 国選択記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財)

文化財の保存・活用を図るための県の取組

【大綱第3章】

3つの基本方針に沿って、県をはじめ市町、文化財所有者・関連団体、県民、観光事業者などが一丸となり、オール静岡で文化財の適切な保存と活用に取り組んでいきます。

文化財の確実な保存

- 1 文化財の総合的把握
 - データベースによる文化財の管理
 - 新規調査と計画的な指定
 - 既存資料の再評価
 - 市町の地域計画及び個々の文化財の保存活用計画策定の促進
- 2 指定文化財の適切な保存に必要な支援
 - 保存活用計画の作成
 - 類型に応じた支援



埋蔵文化財の発掘調査
(浜松市 唐沢古墳群)



文化財の修理
(磐田市 県指定建造物 舟八幡宮楼門)

文化財を支える多様な人材の育成

- 1 文化財行政職員の育成
 - 文化財行政の役割と文化財行政職員の育成
- 2 地域で文化財を支える人材の育成
 - 地域人材との協働
 - 学校教育、社会教育との相互連携による文化財の保存と活用
- 3 文化財の調査・研究機能の強化
 - 県埋蔵文化財センターの機能強化



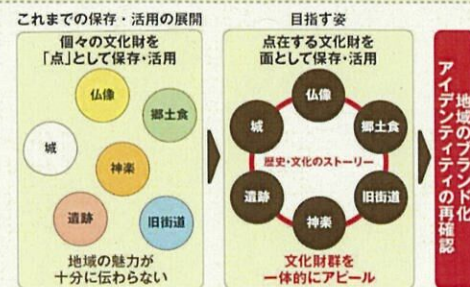
民俗文化財の公開活用
(森町 国指定無形民俗文化財 天宮神社十二段神楽)



文化財ガイドの活躍
(湖西市 国指定特別史跡 新屋簡跡)

文化財の効果的な活用

- 1 地域資源としての効果的な情報発信等
 - ICTを活用した正確で魅力的な情報発信
 - 県の文化施設等からの魅力発信
 - オール静岡による効果的な文化財の魅力発信
- 2 観光やまちづくり等との連携促進
 - まちづくりの核としての文化財活用の促進
 - ストーリーのある文化財群としての活用
 - 観光コンテンツとしての利用・活用促進 (DMO 等との連携)
 - 観光やまちづくりとの連携による文化財を含むエリアの面的整備
 - ガイドの配置、解説案内板の多言語対応
 - モデル事業の実施



市町への支援

【大綱第4章】

地域に根ざした文化財の保存・活用をするため、文化財課内に設置した「静岡県文化財保存活用サポートセンター」が中心となって、県内市町に対し必要な支援を行います。

- 文化財活用における市町連携の促進
- 人的支援
 - 市町支援体制の強化
- 人材育成
 - 体系的な研修の実施
- 地域計画策定の促進

防災・災害発生時の対応

【大綱第5章】

大切な文化財を災害から守るための取組を推進していきます。

- 防災対策
 - 地震対策、防火対策、風水害・土砂災害対策
 - 防犯対策
- 災害発生時の対応
 - 情報収集
 - 文化財レスキューの実施体制

県内各地域の特徴ある文化財 [大綱第1・4章]

静岡県は東西南北に長い県であり、各地域には、それぞれ地域色豊かな文化財が数多く残っています。地域間における連携を促進し、魅力ある文化財の保存・活用に取り組んでいきます。

中部 ~温暖な気候が織りなす駿府と周辺の文化財~

・徳川家康が居住し、終焉の地となったことなどから、家康や江戸幕府が手がけた寺社が多く、柱や壁に漆塗りを施す艶やかな久能山東照宮（国宝・国指定建造物）や静岡浅間神社（国指定建造物）はその代表例です。
 ・大井川越遺跡（国指定史跡）や東海道宇津谷峠（国指定史跡）、身延道、ユネスコの世界の記憶に登録されている清見寺朝鮮通信使関連資料（県指定歴史資料）、交通に関連する文化財、山間部に残る神楽等多彩な文化財が伝えられています。



島田宿大井川越遺跡 (島田市 国指定史跡)

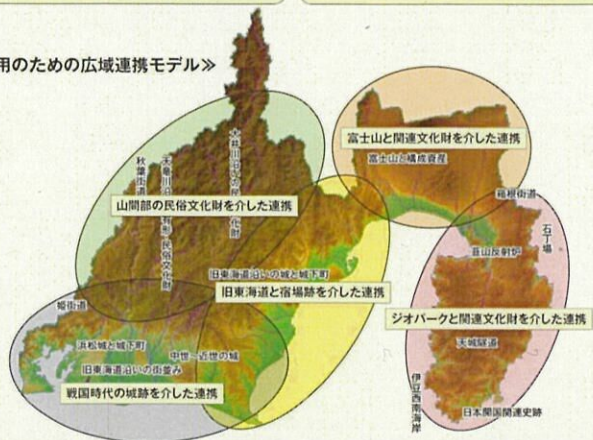
東部 ~富士山を取り巻く文化財~

・富士山は国の特別名勝に指定されていますが、富士山周辺には、富士山本宮浅間大社（国指定建造物・国指定史跡）や湧玉池（国指定特別天然記念物）等、富士山信仰や富士山の活動に由来する文化財が保存されています。
 ・狩宿の下馬ザクラ（国指定特別天然記念物）や上糸のサクラ（県指定天然記念物）を始め富士山を一望できる文化財が多いのもこの地域の特徴です。



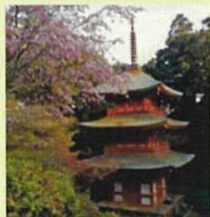
狩宿の下馬ザクラ (富士宮市 国指定特別天然記念物)

《文化財の保存・活用のための広域連携モデル》



西部 ~豊かな自然に根ざした伝統がいぎづく遠江~

・油山寺の三重塔、尊永寺の仁王門、方広寺の七尊菩薩堂（いずれも国指定建造物）、龍潭寺庭園（国指定名勝）等地域の信仰を集める寺社仏閣に残る文化財、大鐘家住宅、友田家住宅、黒田家住宅等の庄屋や代官の住宅等が多くあります（いずれも国指定建造物）。
 ・この地域には、田遊び・田楽が多く見られ、松明を使う遠江のひよんどりとおくない（国指定無形民俗文化財）はその代表例です。



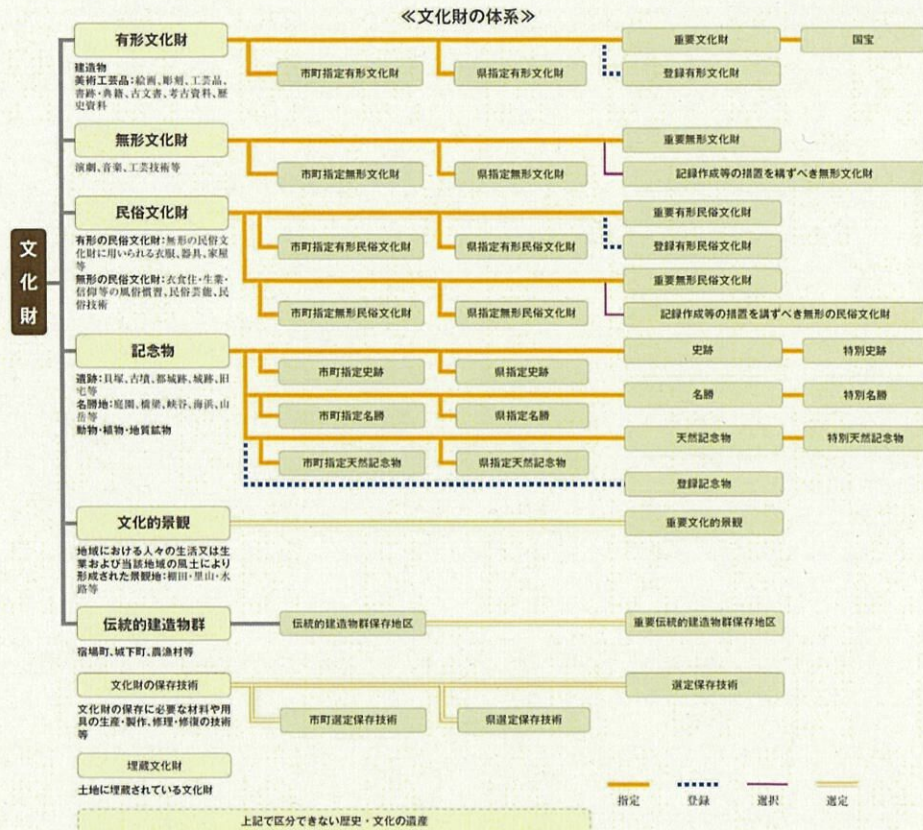
油山寺三重塔 (袋井市 国指定建造物)

伊豆 ~荒々しい地形美と武家社会勃興の地~

・運慶作の木造阿彌陀如来坐像（国宝彫刻）に代表される平安時代末から鎌倉時代初期の武家社会の到来を伝える文化財が多く残る一方で、了仙寺（国指定史跡）や玉泉寺（国指定史跡）等の幕末・開国の様子を伝える文化財があります。
 ・また、鹿島踊りや虎舞、人形三番叟など地域色豊かな民俗文化財、温暖な気候を反映した樹木や植物の自生地があることもこの地域の特徴です。



葦山反射炉 (伊豆の国市 国指定史跡)

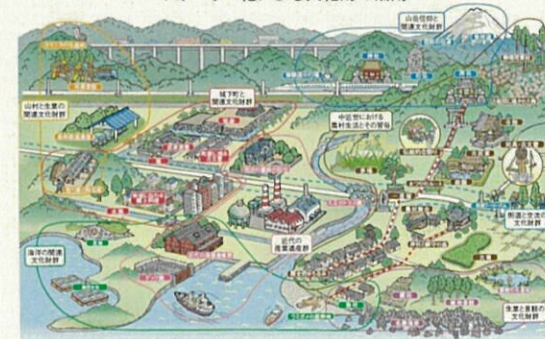


《静岡県内の指定文化財件数》

種別	国指定	県指定	市町指定	国登録	
有形文化財	建造物	34(1)	53	209	264
	絵画	46(1)	38		
	彫刻	23(1)	59		
	工芸品	70(5)	116		
	書・古典文書	38(3)	34	938	0
	考古・歴史資料	9(0)	32		
計	186(11)	279			
伝統的建造物群	1	-	1	-	
無形文化財	有形	0	1	4	-
	無形	2	10	57	1
民俗文化財	有形	9	48	116	-
	無形				
記念物	史跡	47(3)	34	289	
	名勝	8(1)	7	16	
	名勝・史跡	1(0)	0	0	
	名勝・天記	1(0)	0	0	2
	天然記念物	30(2)	120	266	
	天記・名勝	1(0)	0	0	
	計	88(6)	161	571	2
合計	320(17)	552	1,896	267	

() 国宝・特別名勝・天然記念物 令和2年3月31日現在

《ストーリー化による文化財の活用》



静岡県文化財保存活用大綱 《概要版》

発行：静岡県文化局文化財課
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 TEL.054-221-2554 / FAX.054-250-2784

静岡市における本計画の位置づけについて

【資料 3】

1 文化財保存活用地域計画とは

文化財保護行政の中長期的な基本方針を定めるマスタープランであるとともに、文化財の保存活用に関して、本市が取り組む目標や具体的な内容を記載した基本的なアクションプランである。

同時に、多様な文化財を総合的に調査・把握した上で、まちづくりや観光など他の行政分野とも連携し、総合的に文化財の保存活用を進めていくための枠組みでもある。

○法改正による策定の制度化

過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題であり、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域総がかりでその継承に取り組む必要があることから、平成30年6月の文化財保護法の法改正により、都道府県による「文化財保存活用大綱」の策定、市町村の「文化財保存活用地域計画」の策定が制度化された。

地域計画の概要と目指す成果

【現状の課題】

- ・文化財の保存活用の基本方針が定まっていない（計画や構想が未策定）
- ・未指定文化財を把握できていない
- ・計画的な調査に取り組めていない
- ・文化財の保存修理が計画的に進められていない
- ・文化財の保存と活用のための後継者が不足している
- ・公開活用の方法が確立していない

【地域計画の概要】

- ・文化財の保存活用の基本方針
- ・地域で守るべき指定・未指定の文化財を把握
- ・文化財の概要や歴史文化の特徴
- ・本市の文化財の課題と対応方針や措置
- ・文化財の調査状況、今後の調査方針
- ・「関連文化財群」「文化財保存活用区域」（テーマやストーリー、エリアごとに関連する文化財をまとめたもの）など

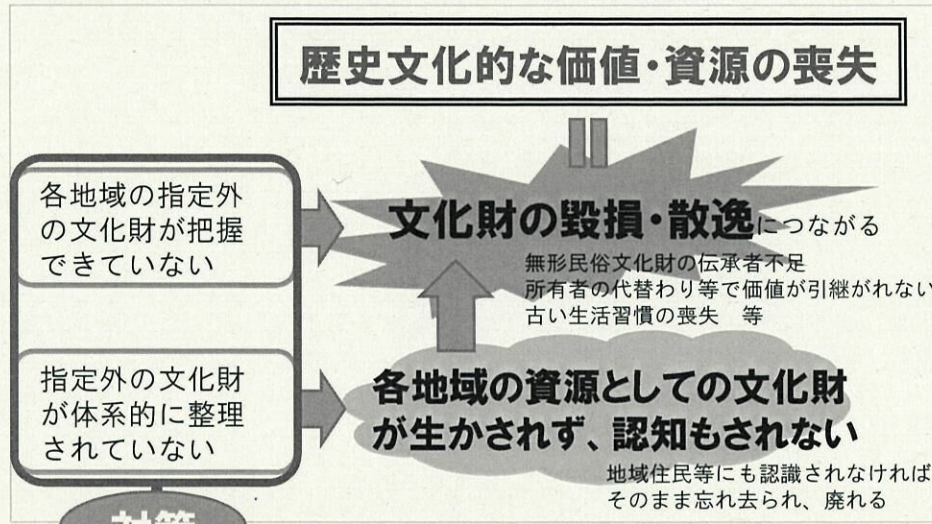
【目指す成果】

- ・地域住民や団体等の、指定・未指定文化財の価値の認知、理解と保存活用への協力や自立的取り組みを促進する。
- ・計画的な保存修理や調査を実施する。
- ・文化財の把握、関連するストーリーでのゾーニングなどにより歴史観光の推進のための基礎固めを行う。
- ・文化財の価値や歴史的特徴の明示により、文化財を活用したイベントの実施等による交流人口の増加につなげる。
- ・地域の文化財の存在や価値を周知することで、ユニークベニューとしての活用を促進する。

3 地域計画策定の狙い、効果について

本市の文化財保存活用の現状

※文化財には未指定のものを含む。



対策

文化財保存活用地域計画

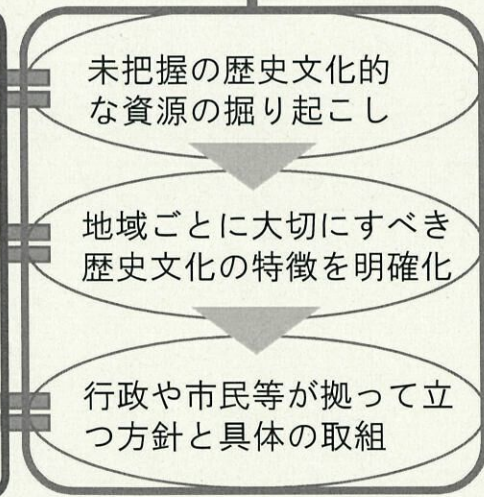
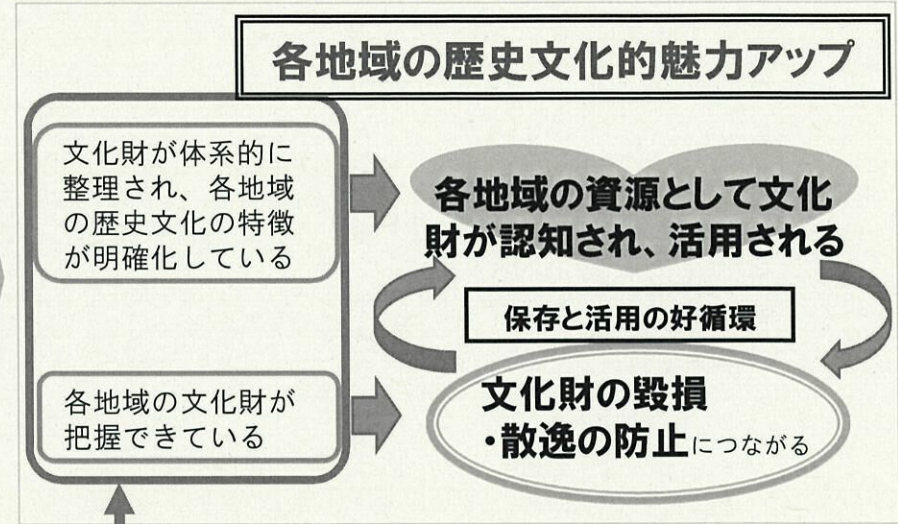
本市の地域計画を策定するに当たり、その基礎資料として、計画に盛り込んで保存活用していく文化財を特定し、状況を把握、リスト化する。

広い市域を持つ本市は、地域や時代によって様々な歴史的な特徴を持っていることから、それを整理して計画に掲載する。

本市の文化財の保存活用に関する現状と課題を整理し、それを解決するための方針や具体策を定める。
(文化財の調査状況や今後の調査方針を含む。)

ストーリー的に関連する文化財群や、文化財が集中する地域も整理し活用につなげる。

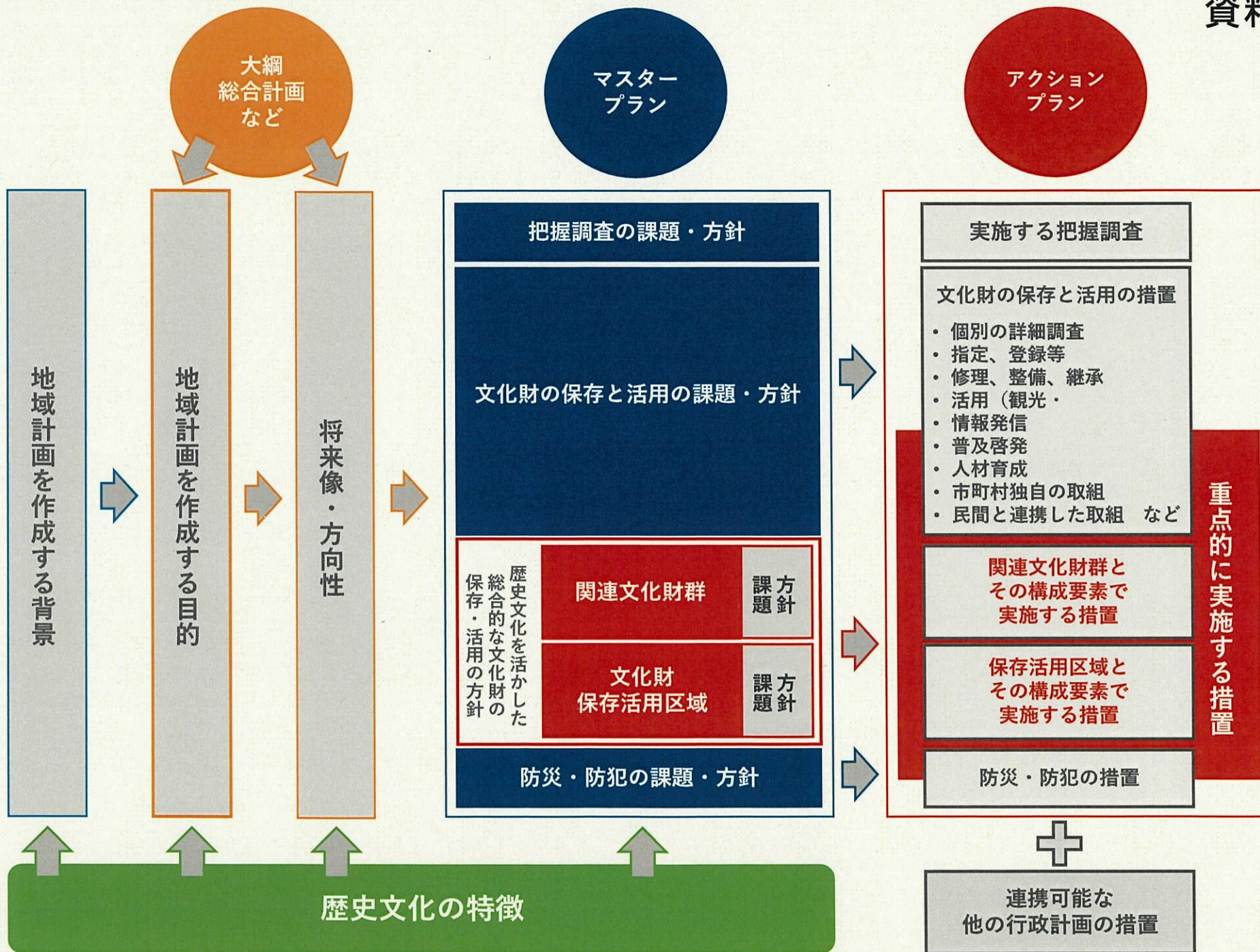
目指すべき姿



市民や観光関係等からも意見を求めて策定することで...

- ・所有者や地域住民の意識を文化財保存活用に向ける。
- ・地域が文化財を守るための計画となる。
- ・文化財を地域の資源として認識し活用につなげる。

地域が誇ることができるものとして文化財を認識
→シビックプライドの醸成



静岡市文化財保存活用地域計画の位置づけ

文化財保護法

静岡県文化財
保存活用大綱
(R2. 3)

【上位計画】R4. 10. 11聞き取り時点
第4次静岡市総合計画 (R5~R12)
※策定中

整合

準拠

準拠

＜各区の中心エリアの20年後の姿＞

- ・ 歴史まちづくりグランドデザイン (葵区)
- ・ 駿河まなびのまちづくりグランドデザイン (駿河区)
- ・ 清水みなとまちづくりグランドデザイン (清水区)

「歴史文化の地域づくり」
として (仮称)5大重点
政策に位置づけ

総計での「歴史文化」
の位置付けを踏まえ、
各計画に「歴史文化」
の視点を反映

静岡市文化財保存活用
地域計画
(R7~R17予定)

連携・整合

【関連計画】R4. 10. 11聞き取り時点

- ・ (仮称) 静岡市歴史文化施設建設基本計画 (H28)
- ・ 静岡市文化振興計画 (H29)
- ・ 第2次静岡市環境基本計画 (H27)
- ・ 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画
- ・ 静岡市中心市街地活性化基本計画 (R4)
- ・ 静岡市景観計画 (R1)
- ・ 静岡市みどりの基本計画 (H27)
- ・ 清水港・みなと色彩計画 (R3)

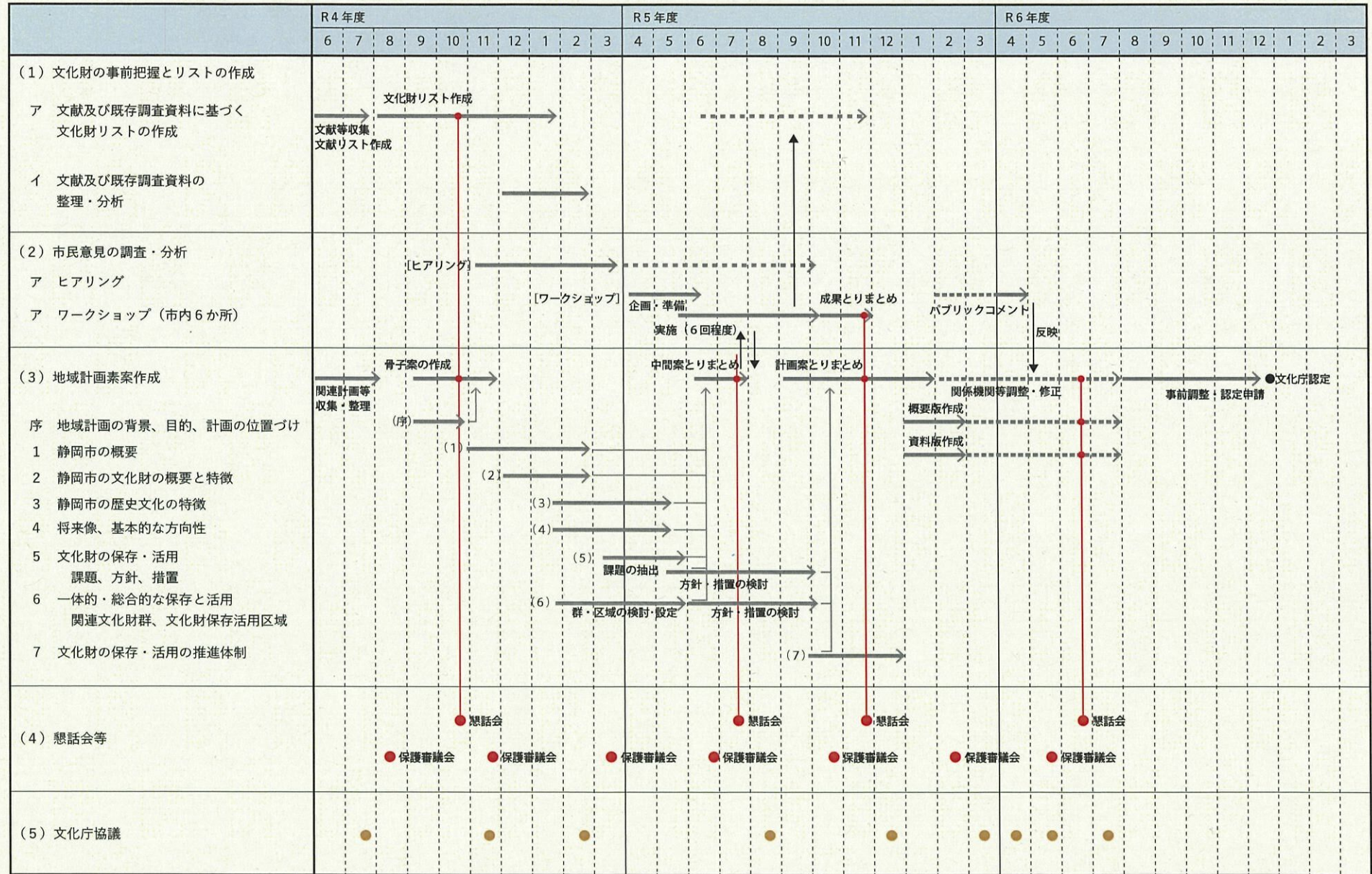
各計画に落とし込んだ「歴史文化」
の視点やそれに基づく各事業との連
携・整合を図りつつ、本市の文化財
の保存活用における課題に対応する。

下位計画、アクションプラン、重点地区、
事業など

計画策定スケジュールについて

【資料4】

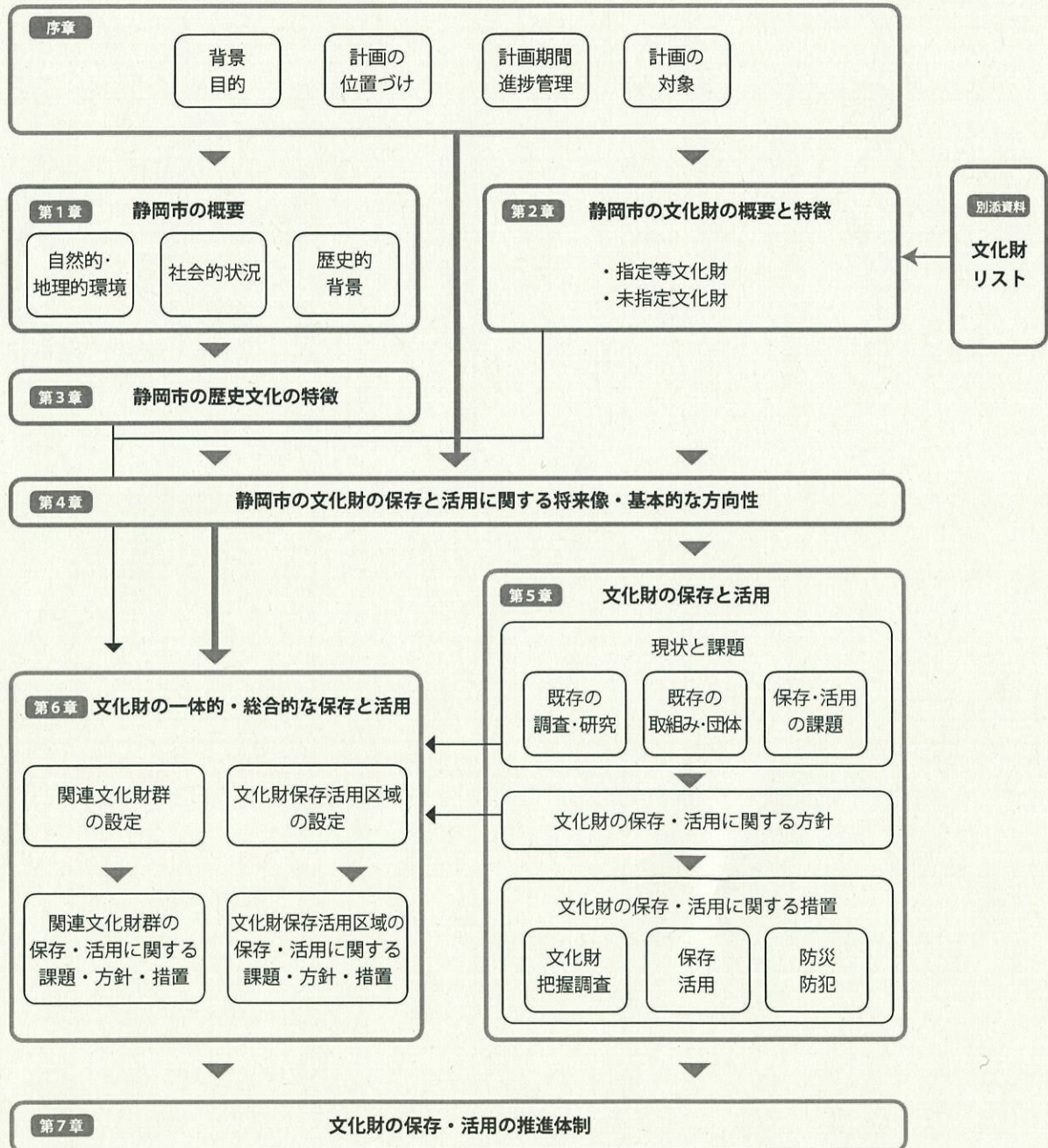
静岡市文化財保存活用地域計画スケジュール



目次 (案)

静岡市文化財保存活用地域計画の骨子 (案)

※文化庁資料より作成



色凡例： 葵区 駿河区 清水区

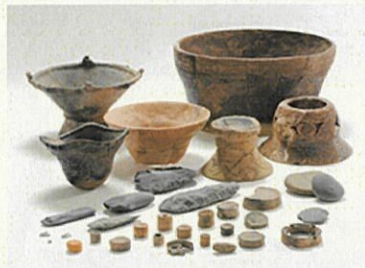
静岡市の歴史の概要について 出典：静岡市 HP 歴史文化のまち静岡さきがけミュージアム

先史：縄文時代以前

狩猟採集を中心とした丘陵での生活

静岡で最も古い人の生活は、旧石器時代（約3万年前）から確認できます。町屋遺跡（清水区庵原）では、狩猟につかったヤリの先（尖頭器、細石器）が見つっています。

約1万年続いた縄文時代は、有度山麓や井川など丘陵や河岸段丘上で遺跡が見つっています。立体装飾的な土器が作られる中期（約5,000年前）には、阿僧遺跡（清水区由比）や割田原遺跡（葵区井川）などで、土器や石器のほか住居跡も見つかり、遺跡数が増加します。天王山遺跡（清水区宮加三）は、後期（約4,000年前）から弥生時代初頭（約2,500年前）にかけての住居跡が見つっており、定住して狩猟採集生活をしていたことが確認できます。最近の研究によれば、縄文時代にも種をまき収穫をするといった植物の管理栽培が行われていました。



天王山遺跡出土品

先史：弥生時代

稲作農耕の始まりと水田開発

稲作農耕は、中国大陸に近い北九州では縄文時代晩期に始まりますが、静岡では弥生時代中期中頃（約2,200年前）からになります。先に稲作を始めていた伊勢湾周辺の人々との交流により、静岡でも中国大陸由来の磨製石斧で木製農具を大量に作り、平野部を開発して水田を作るようになりました。有東遺跡（駿河区有東ほか）や瀬名遺跡（葵区瀬名）では、磨製石斧や木製農具が見つかり、さらに四方に溝を掘って中央に土盛りする新しいタイプの墓（方形周溝墓）を作るなど、それ以前と比べて生活の大きな変化を知ることができます。後期（約1,900年前）の登呂遺跡（駿河区登呂）は、住居や倉庫と広い水田がセットで見つかり、合わせて当時の生活を知ることのできる遺物が見つかったことから、日本考古学史上重要な国特別史跡となりました。静岡平野では、この頃の水田が多く見つかり、人口が増加したと考えられます。

登呂遺跡復元集落



先史：古墳時代

豊かな古墳文化と王の誕生

畿内（旧国名の和、山城、摂津、河内、和泉。現在の奈良、大阪、京都の一部。）を中心に前方後円墳という墓制が本州を中心に広がり、静岡でも3世紀後半から見られるようになります。神明山1号墳（清水区袖師）は、卑弥呼の墓とも言われる奈良県の箸墓古墳の1/4スケールの古墳で、庵原の王墓と考えられます。同じ庵原にある前期末（4世紀後葉）の三池平古墳（清水区庵原）は、朱塗りされた石室の中から鏡や大刀、鉄斧などの豊富な鉄製品が発見され、古墳文化の発展を知ることができます。後期（6世紀第3四半期）の賤機山古墳（葵区浅間町）は、巨石を用いた県内最大級の横穴式石室から、畿内を中心に見られる家形石棺とともに、金銅で装飾された大刀や馬具、装身具が発見され、奈良県藤ノ木古墳の出土品と類似することから、大和政権と深い関わりをもった王の墓と考えられます。煌びやかな副葬品をもつ古墳文化から、地域を支配する豪族や王の出現を知ることができます。



賤機山古墳出土品

古代：奈良・平安時代

仏教文化・律令国家の成立と発展

畿内にある中央政権は、中国にならって法律や刑法を定めて全国を統治する、いわゆる律令国家を成立させます。また、全国を国、郡、里（後に郷）に分けました。静岡は駿河国に属し、静岡市域は安倍・有度・庵原の3郡に分けられ、その範囲は概ね現在の葵区・駿河区・清水区に相当します。ケイセイ遺跡（駿河区中田ほか）や尾羽廃寺跡（清水区尾羽）からは、墨書土器や木簡などの文字の書かれた出土品があり、ケイセイ遺跡の墨書土器には「有度」の字もあります。さらに、両遺跡から当時の税である稲を納めた高床の倉跡が見つかり、それぞれ有度郡、庵原郡の役所（郡衙）があったと考えられます。駿河国府は安倍郡に置かれたとの記録があり、近世の駿府城の範囲内にあったとする説があります。

7世紀後半頃から、各地の有力豪族は古墳に代わって寺院を建てるようになります。尾羽廃寺跡（清水区尾羽）はこの頃の寺院で、県内最古級の氏寺です。奈良時代になると、聖武天皇は疫病や災害を収めるため全国に国分寺を建てました。片山廃寺跡（駿河区大谷）は、塔や伽藍（建物）の規模と構成、瓦の型から駿河国分寺と考えられます。



ケイセイ遺跡出土文字資料

中世：鎌倉時代

駿河の武士団

平安時代の中ごろには、駿河国にも多くの荘園が設けられましたが、その中で有力な豪族たちが自分の土地を守るために武装する武士が誕生しました。静岡市内には、平将門の乱で功績のあった藤原為憲の子孫と伝えられる入江氏が強い勢力を持ちました。

市域の豪族たちは、入江氏の下で静岡県内の各地に進出します。藁科氏、手越氏、吉川氏、船越氏、渋川氏、矢部氏、息津（興津）氏、由比氏、蒲原氏などが鎌倉時代以降活躍しました。



「梶原景時一族供養塔」高源寺蔵

梶原景時の最期

幕府の御家人の梶原景時は、源頼朝に仕え源平の合戦で活躍し、幕府の重要な役についていましたが、頼朝が死ぬと北条氏との対立がもとで幕府内で孤立し、幕府に反旗をひるがえして鎌倉を脱出しました。西へ向かう景時の一行は清見関付近で入江一族ら駿河国の武士たちと衝突し、庵原川下流付近や高橋付近（清水区）で合戦となりました。

いったんは曲金（駿河区）付近に逃げた景時も、再び狐ヶ崎（葵区川合付近）で引き返し、嫡子景季、次男景高とともに夕日無山の山中へ逃げこみ、父子3人で自害しました。高橋の高源寺に景時一族の供養塔が建てられています。また、大内には梶原堂が建てられ、その霊を弔っています。

中世：南北朝・室町時代

南北朝の内乱

鎌倉幕府滅亡後、後醍醐天皇の建武の新政に不満を持った足利尊氏によって朝廷が分裂されてから 50 数年間を南北朝時代と言います。北朝方の尊氏は、一族の今川範国を駿河・遠江の守護につけ、地方の武士を味方に引き入れようとしてきました。また清見関に目をつけ、戦乱で荒廃した清見寺（清水区興津）を造営し、街道の防備と反幕府勢力の監視を行いました。

一方、安倍城（葵区西ヶ谷）に拠点を構えていた狩野貞長は、駿河国の南朝方の中心人物として活躍しました。安倍城は安倍川西岸の内牧、慈悲尾、羽鳥にまたがる標高 435m の山上にあって、ここを本拠地とし南朝方の勢力圏を形成しました。しかし、次第に北朝方に制圧され、安倍城も落城しました。



「足利尊氏坐像」清見寺蔵

中世：安土桃山時代

今川氏の台頭

応仁元年（1467）将軍・義政の時、将軍家・管領家の後継者争いに端を発した応仁・文明の乱とよばれる 11 年続く内乱が巻き起こりました。全国の守護を巻き込み、主戦場となった京都は荒廃しました。この内乱に駿河守護・今川義忠も参戦し、将軍・足利義政を擁する東軍に属しました。しかし、文明 8 年（1476）に義忠は塩買坂（袋井市）において戦死しました。今川義忠の子息の氏親は、後に塩買坂付近に正林寺を建立し、その菩提を弔いました。

今川氏 駿河に君臨した名家



「今川義忠木像」正林寺蔵

武田氏の駿河侵攻

桶狭間の合戦で今川義元が討たれてから8年後の永禄11年（1568）、武田信玄は駿河侵攻を始めました。義元の跡を継いだ氏真は敗れ掛川に落ち延びました。勝利した信玄は、現在久能山東照宮がある場所に久能山城を、江尻には江尻城を築き一族の穴山梅雪を城主としました。

家康の「五か国領国時代」と中村一氏の駿河支配

天正10年（1582）に武田家が滅亡すると、駿府城には家康が入りました。その後、小田原の後北条氏が滅亡するまでの8年間、駿府は家康が駿河・遠江・三河・信濃・甲斐の五か国を支配する「五か国領国時代」の拠点となりました。

家康が江戸に移封された後は、豊臣系の中村一氏が駿府城主となりました。一氏のもとでは、家臣の横田村詮による積極的な統治政策が行われました。

近世：江戸時代

「神君家康公」のおわした町 駿府

家康在城時、10万人を数えた駿府の人口は、幕府直轄地となる1630年代には、1万人弱まで激減しました。駿府の支配は、全国の大名家や旗本が短期間で交代する形で執り行うようになり、駿府の町人たちは「駿府九十六ヶ町」が交代で町の運営を行う制度を作り上げました。駿府では、飢饉や災害が起こるたびに「権現様御在城之節」と、幕府に対して家康との関わりを主張することで幕府からの援助を勝ち取ってきました。駿府の人々は、家康死後も家康に守られ、家康を利用しながら町を運営していました。

家康の大御所時代



「駿府城下町割絵図」静岡市蔵

色凡例：葵区 駿河区 清水区

駿府の外港 清水湊

江戸時代、清水湊は港のない城下町駿府の外港として、駿府と切っても切れない関係にありました。特に、山間部の多い静岡市域は慢性的な米不足に悩まされていたため、清水湊に集められ山梨へ送られる甲州廻米を、いかに駿府や清水に流通させるかが重要な課題であり、清水湊はその役割を担っていました。



「三保ノ図」もりおか歴史文化館蔵

幕末維新

嘉永6年（1854）のペリー艦隊の浦賀来航によって、市域の村々にも海岸警備が命じられるなど、幕末の動乱が波及してきました。翌嘉永7年＝安政元年（1855）には安政東海地震が発生し、社会不安をいっそうあおりました。戊辰戦争の官軍の東上の際には、伝馬町で西郷隆盛と山岡鉄舟の会談がもたれ、徳川家存続の道が開かれました。

明治時代

静岡藩

明治維新後、最後の将軍となった徳川慶喜や、その跡を継いだ家達をはじめ膨大な旧幕臣たちが移住してきたため、市域の町や村は移住者たちの対応に追われました。静岡藩は、その後の廃藩置県にともないわずか数年で消滅しますが、藩の学校であった静岡学問所の教育が当時最高の水準で全国の藩が参考にするなど、文化面で強い求心力を持っていました。



徳川家達と家臣たちの写真 個人蔵

静岡市の誕生

明治21年（1888）に公布された「市制・町村制」を受け、静岡県内では唯一の市として、静岡市が成立しました。当初の静岡市は、駿府九十六ヶ町を中心とした範囲のみでした。

由比町・蒲原町もこの時に成立しました。

清水港開港と茶輸出

江戸時代を通して拡大した静岡市内の茶生産は、幕末の横浜開港を経てさらに増大していきます。明治時代に入ると、東海道線の開通や清水港からの直輸出によって日本一の茶輸出力を誇るまでに成長します。現在の静岡鉄道も、もとは茶問屋が多くある安西・茶町などと清水港を結んで茶を運ぶために整備されました。

静岡第三十四連隊

家康によって作られ、江戸時代を通じて駿府やその近郊を治める拠点として機能してきた駿府城は、明治30年（1897）の静岡歩兵34連隊の設置に伴い、軍事拠点として作り替えられます。

大正時代

大正時代の都市化と文化

大正のはじめ、日本は第一次世界大戦の激化による西洋諸国の需要拡大をうけ、好景気にわいていました。静岡でも工業化、都市化にともなう、水道や電灯などのインフラや鉄道・バスなどの交通網が整備されました。

また、それまでは一部の知識人を中心に受容されてきた欧米の思想や文化、芸術なども大衆にも広まります。この頃、七間町には「パテー館」や「キネマ館」などの映画館ができ、七間町を中心とした繁華街を散策する「七ぶら」が流行しました。

旧静岡中心市街地を走る路面電車の写真



静岡市文化財協会蔵



七間町のにぎわい 個人蔵

清水市の誕生

大正 13 年（1923）、清水町・入江町・三保村・不二見村が合併し清水市が誕生しました。市の名前をめぐるには、港の中心である「清水」と東海道の宿場であった「江尻」が対立し、「江尻清水市」や「巴市」、「清見潟市」などが出されましたが、最終的に「清水市」となりました。

資料 7 - 1

昭和・平成時代

戦後復興と静岡中心市街地・清水港の整備

太平洋戦争は、静岡市域にも甚大な被害をもたらしました。旧静岡市域は、戦後、県と市が進めた火災に強い「不燃化共同ビル計画」のもと生まれ変わり、郊外型大型商業施設に負けない、「人のにぎわいの絶えないまち」として全国的に注目されることとなりました。旧清水市域では、連合国軍総司令部（GHQ）によって清水港が貿易港に指定されたことで、港の復興が進みました。



青葉通りと周辺の整備された風景 静岡市文化財協会蔵

新しい静岡市へ

平成 15 年（2003）、静岡市と清水市が合併し、新しい静岡市が誕生しました。平成 18 年には蒲原町が、20 年には由比町が編入し現在の静岡市になりました。これまで旧 2 市 2 町がそれぞれ持っていた歴史・文化を尊重しながら、新たな静岡市としての歴史・文化を創造していかなくてはなりません。

時代区分		西暦（おおよそ）	内容
旧石器時代	旧石器時代	（約3万年前）	町屋遺跡（清水区庵原）では、狩猟に使ったヤリの先（尖頭器、細石器）が見つかる。
	縄文時代中期	（約5,000年前）	阿僧遺跡（清水区由比）や割田原遺跡（葵区井川）などで、土器、石器、住居跡も見つかる。
縄文時代	縄文時代後期～	（約4,000年前）～ （約2,500年前）	清水天王山遺跡（清水区宮加三）では住居跡が見つかり、定住して狩猟採集生活をしていたことが確認できる。
	弥生時代初期		
	弥生時代中期中頃	（約2,200年前）	静岡でも稲作が始まる。有東遺跡（駿河区有東ほか）や瀬名遺跡（葵区瀬名）では、磨製石斧や木製農具が見つかり、さらに四方に溝を掘って中央に土盛りする新しいタイプの墓（方形周溝墓）を作るなど、それ以前と比べて生活の大きな変化を知ることができる。
弥生時代	弥生時代後期	（約1,900年前）	登呂遺跡（駿河区登呂）は、住居や倉庫と広い水田がセットで見つかり、合わせて当時の生活を知ることのできる遺物が見つかったことから、日本考古学史上重要な国特別史跡となる。
	古墳時代（3世紀前半）	（201年～）	前方後円墳が見られるようになる。神明山1号墳（清水区袖師）は、庵原の王墓と考えられる。
	古墳時代（4世紀後葉）	（350年～）	三池平古墳（清水区庵原）は、朱塗りされた石室の中から鏡や大刀、鉄斧などの豊富な鉄製品が発見され、古墳文化の発展を知ることができます。
古墳時代	古墳時代（6世紀第3四半期）	（550年～575年頃）	賤機山古墳（葵区浅間町）は、巨石を用いた県内最大級の横穴式石室から、畿内を中心に見られる家形石棺とともに、金銅で装飾された大刀や馬具、装身具が発見され、奈良県藤ノ木古墳の出土品と類似することから、大和政権と深い関わりをもった王の墓と考えられる。
	奈良時代（7世紀前半頃）	（700年頃～）	畿内にある中央政権は、中国にならって法律や刑法を定めて全国を統治する、いわゆる律令国家を成立させます。静岡は駿河国に属し、静岡市域は安倍・有度・庵原の3郡に分けられ、その範囲は概ね現在の葵区・駿河区・清水区に相当します。ケイセイ遺跡（駿河区中田ほか）や尾羽廃寺跡（清水区尾羽）からは、墨書土器や木簡などの文字の書かれた出土品があり、ケイセイ遺跡の墨書土器には「有度」の字もあります。
	奈良時代（7世紀後半頃）	（750年頃～）	各地の有力豪族は古墳に代わって寺院を建てるようになります。尾羽廃寺跡（清水区尾羽）はこの頃の寺院で、県内最古級の氏寺です。奈良時代になると、聖武天皇は疫病や災害を収めるため全国に国分寺を建てました。片山廃寺跡（駿河区大谷）は、塔や伽藍（建物）の規模と構成、瓦の型から駿河国分寺と考えられます。
平安時代	平安時代中頃	（800年～1000年頃）	駿河国にも多くの荘園が設けられましたが、その中で有力な豪族たちが自分の土地を守るために武装する武士が誕生した。静岡市内には、平将門の乱で功績のあった藤原為憲の子孫と伝えられる入江氏が強い勢力を持った。
鎌倉時代	鎌倉時代	（1200年頃～）	幕府の御家人の梶原景時は、源頼朝に仕え源平の合戦で活躍し、幕府の重要な役についていたが、頼朝が死ぬと北条氏との対立がもとで幕府内で孤立し、幕府に反旗をひるがえして鎌倉を脱出した。西へ向かう景時の一行は清見関付近で入江一族ら駿河国の武士たちと衝突し、庵原川下流付近や高橋付近（清水区）で合戦となった。いったんは曲金（駿河区）付近に逃げた景時も、再び狐ヶ崎（葵区川合付近）で引き返し、嫡子景季、次男景高とともに夕日無山の山中へ逃げこみ、父子3人で自害しました。高橋の高源寺に景時一族の供養塔が建てられている。また、大内には梶原堂が建てられ、その霊を弔っている。
南北朝時代	南北朝時代	1300年頃～	北朝方の尊氏は、一族の今川範国を駿河・遠江の守護につけ、地方の武士を味方に引き入れようとした。また清見関に目をつけ、戦乱で荒廃した清見寺（清水区興津）を造営し、街道の防備と反幕府勢力の監視を行った。一方、安倍城（葵区西ヶ谷）に拠点を構えていた狩野貞長は、駿河国の南朝方の中心人物として活躍した。安倍城は安倍川西岸の内牧、慈悲尾、羽鳥にまたがる標高435mの山上にあって、ここを本拠地とし南朝方の勢力圏を形成した。しかし、次第に北朝方に制圧され、安倍城も落城した。
室町時代	応仁元年	1467年	将軍・義政の時、将軍家・管領家の後継者争いに端を発した応仁・文明の乱とよばれる11年続く内乱が巻き起こった。全国の守護を巻き込み、主戦場となった京都が荒廃した。この内乱に駿河守護・今川義忠も参戦し、将軍・足利義政を擁する東軍に属した。しかし、文明8年（1476）に義忠は塩買坂（袋井市）において戦死した。今川義忠の子息の氏親は、後に塩買坂付近に正林寺を建立し、その菩提を弔った。

【資料6】

時代区分		西暦（おおよそ）	内容
戦国時代	永禄11年	1568年	桶狭間の合戦で今川義元が討たれてから8年後、武田信玄は駿河侵攻を始めた。義元の跡を継いだ氏真は敗れ掛川に落ち延びた。勝利した信玄は、現在久能山東照宮がある場所に久能山城を、江尻には江尻城を築き一族の穴山梅雪を城主とした。
	天正10年	1582年	武田家が滅亡すると、駿府城には家康が入った。その後、小田原の後北条氏が滅亡するまでの8年間、駿府は家康が駿河・遠江・三河・信濃・甲斐の五か国を支配する「五か国領国時代」の拠点となった。
江戸時代	江戸時代初期	1630年代～	幕府直轄地となった駿府の人口は1万人弱まで激減した。駿府の支配は、全国の大名や旗本が短期間で交代する形で執り行うようになり、駿府の町人たちは「駿府九十六ヶ町」が交代で町の運営を行う制度を作り上げた。駿府では、飢饉や災害が起こるたびに「権現様御在城之節」と、幕府に対して家康との関わりを主張することで幕府からの援助を勝ち取ってきた。駿府の人々は、家康死後も家康に守られ、家康を利用しながら町を運営した。
	江戸時代	1600年～	清水湊は港のない城下町駿府の外港として、駿府と切っても切れない関係にあった。特に、山間部の多い静岡市域は慢性的な米不足に悩まされていたため、清水湊に集められ山梨へ送られる甲州廻米を、いかに駿府や清水に流通させるかが重要な課題であり、清水湊はその役割を担っていた。
	嘉永6年	1854年	ペリー艦隊の浦賀来航により、市域の村々にも海岸警備が命じられるなど、幕末の動乱が波及してきた。嘉永7年には安政東海地震が発生し、社会不安をいっそうあおった。戊辰戦争の官軍の東上の際には、伝馬町で西郷隆盛と山岡鉄舟の会談がもたれ、徳川家存続の道が開かれた。
明治時代	明治時代初期	1868年～	最後の将軍となった徳川慶喜や、その跡を継いだ家達をはじめ膨大な旧幕臣たちが移住してきたため、市域の町や村は移住者たちの対応に追われた。静岡藩は、その後の廃藩置県にともなわずか数年で消滅するが、藩の学校であった静岡学問所の教育が当時最高水準で全国の藩が参考にするなど、文化面で強い求心力を持っていた。
	明治21年	1888年	「市制・町村制」を受け、静岡県内では唯一の市として、静岡市が成立した。当初の静岡市は、駿府九十六ヶ町を中心とした範囲のみだった。由比町・蒲原町もこの時に成立した。
	明治時代	1868年～	東海道線の開通や清水港からの直輸出によって日本一の茶輸出量を誇るまでに成長される。現在の静岡鉄道も、もとは茶問屋が多くある安西・茶町などと清水港を結び茶を運ぶために整備された。
	明治30年	1897年	駿府城は、静岡歩兵34連隊の設置に伴い、軍事拠点として作り替えられます。
大正時代	大正時代初期	1910年代頃	静岡では工業化、都市化にともなう、水道や電灯などのインフラや鉄道・バスなど交通網が整備される。また、それまでは一部の知識人を中心に受容されてきた欧米の思想や文化、芸術なども大衆にも広まる。この頃、七間町には「パテー館」や「キネマ館」などの映画館ができ、七間町を中心とした繁華街を散策する「七ぶら」が流行する。
	大正13年	1923年	清水町・入江町・三保村・不二見村が合併し清水市が誕生しました。市の名前をめぐっては、港の中心である「清水」と東海道の宿場であった「江尻」が対立し、「江尻清水市」や「巴市」、「清見湯市」などが出されたが、最終的には清水市となった。
昭和時代	昭和16年	1941年～	太平洋戦争は、静岡市域にも甚大な被害をもたらした。旧静岡市域は、戦後、県と市が進めた火災に強い「不燃化共同ビル計画」のもと生まれ変わり、郊外型大型商業施設に負けない、「人のにぎわいの絶えないまち」として全国的に注目されることとなった。旧清水市域では、連合国軍総司令部（GHQ）によって清水港が貿易港に指定されたことで、港の復興が進んだ。
平成時代	平成15年	2003年	静岡市と清水市が合併し、新しい静岡市が誕生した。
	平成18年	2006年	蒲原町が合併した。
	平成20年	2008年	由比町が編入し現在の静岡市になった。

◆ 静岡市の指定文化財数一覧 ◆

(令和4年9月20日現在)

文化財の種別	国指定		県指定	市指定文化財	合計
	国宝・特別	重要文化財			
有形文化財	3	37	75	90	205
建築物	1	6	4	14	25
絵画		1	10	8	19
彫刻		2	12	21	35
工芸品	1	21	30	15	67
書跡・典籍・古文書	1	5	7	20	33
考古資料		1	11	4	16
歴史資料		1	1	8	10
無形文化財	0	0	1	0	1
芸能					0
工芸技術			1	0	1
民俗文化財	0	2	8	6	16
有形民俗文化財			1	2	3
無形民俗文化財		2	7	4	13
記念物	1	13	11	42	67
史跡	1	7	2	11	21
名勝		5	1	3	9
天然記念物		1	8	28	37
伝統的建造物群	0	0	0	0	0
町並み					0
文化的景観					0
合計	4	52	95	138	289

※ 史跡と名勝に重複して指定されている「柴屋寺庭園」については、双方の種別について各々1件として数えている。

※ 上記一覧のほか、東海大学海洋学部にてミヤコタナゴを飼育

国登録有形文化財	静岡市役所本館、旧マッケンジー住宅、清水港テルファー、旧五十嵐歯科医院、次郎長生家(旧高木家住宅)ほか	37
地域登録文化財	ギリッカケ、しみづ道道標ほか	14

平成15年4月1日 静岡市・清水市合併
平成20年11月1日 由比町合併

平成18年3月31日 蒲原町合併

指定文化財一覧

【資料 7】

令和4年9月20日現在

国指定文化財								
種 別	区 分	番 号	名 称	指 定 年 月 日	所 在 地	所 有 者 等		
有形文化財 国宝	建造物	1	久能山東照宮本殿、石の間、拝殿	H22.12.24	駿河区根古屋	久能山東照宮		
	工芸	2	太刀 銘貞恒	S26.6.9	駿河区根古屋	久能山東照宮		
	書跡	3	法華経(久能寺経)19巻	S27.11.22	清水区村松	鉄舟寺		
重要文化財	建造物	4	久能山東照宮社殿(13棟) (追加指定)	M41.8.1 H22.12.24	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		5	靈山寺仁王門	S6.1.19	清水区大内	靈山寺		
		6	神部神社浅間神社社殿(23棟) (追加指定)棟札10枚	S46.6.22 H11.5.13	葵区宮ヶ崎町	静岡浅間神社		
		7	大歳御祖神社社殿(3棟) (追加指定)棟札2枚	S46.6.22 H11.5.13				
		8	臨濟寺本堂 附玄関(1棟) 清水灯台	S58.1.7 R4.9.20			葵区大岩町 清水区三保	臨濟寺 海上保安庁
		絵画	9	紙本着色蘭亭曲水龍山勝会図 池大雅筆	S59.6.6	駿河区谷田 県立美術館	静岡県	
		彫刻	10	木造阿弥陀如来立像	S6.12.14	葵区常磐町	宝台院	
			11	木造阿弥陀如来立像	S60.6.6	葵区伝馬町	新光明寺	
	工芸品	太刀	12	銘長船住人長光 附糸巻太刀拵	M44.4.17	葵区宮ヶ崎町	静岡浅間神社	
			13	革柄蠟色鞘刀 無銘(伝三池光世作) 附蒔絵刀箱	M44.4.17	駿河区根古屋	久能山東照宮	
		14	太刀 銘雲次 附糸巻太刀拵	T1.9.3	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		15	太刀 銘国宗 附糸巻太刀拵	T1.9.3	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		16	太刀 銘守家 附糸巻太刀拵	T1.9.3	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		17	太刀 銘安則 附糸巻太刀拵	T1.9.3	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		18	太刀 銘国行 附糸巻太刀拵	T1.9.3	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		19	太刀 銘国行 附糸巻太刀拵	T1.9.3	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		20	脇指 無銘(伝貞宗) 附黒鯨柄合口拵	T3.4.17	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		21	太刀 無銘附糸巻太刀拵	T10.4.30	清水区三保	御徳神社		
		22	太刀 銘正恒 附糸巻太刀拵	T12.3.28	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		23	太刀 銘国宗 附糸巻太刀拵	T13.4.15	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		24	脇指 無銘(伝相州行光作) 附黒鯨柄黒漆鞘小サ刀	T13.4.15	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		25	太刀 銘末守 附糸巻太刀拵	T14.4.24	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		26	太刀 銘高(以下不明) 附糸巻太刀拵	T15.4.19	駿河区根古屋	久能山東照宮		
		27	錫杖(しゃくじょう)	S11.5.6	清水区村松	鉄舟寺		
		28	短刀 銘則重	S15.5.3		個人蔵		
		29	脇指 銘相模国住人広光延文五年八月日 附小サ刀拵	S27.7.19		個人蔵		
		30	太刀 銘行秀	S30.6.22		個人蔵		
		31	伊予札黒糸威胴丸具足 附具足櫃	S41.6.11	駿河区根古屋	久能山東照宮		
	32	金溜塗具足 白檀塗具足 附具足櫃(2領)	S41.6.11	駿河区根古屋	久能山東照宮			
	書跡・典籍・古文書		33	宋版石林先生尚書伝 自巻第一至第四 紹興二十九年仲夏日記	S49.6.8	清水区興津清見寺町	清見寺	
			34	後醍醐上皇幸西園寺詠詠花和歌并序(唐紙)	S55.6.6	駿河区谷田 県立美術館	静岡県	
			35	山背国愛宕郡天平四年計帳残簡	S55.6.6	駿河区谷田 県立美術館	静岡県	
			36	写経奉請状 天平勝宝四年四月	S55.6.6	駿河区谷田 県立美術館	静岡県	
			37	熊谷家文書(255通)	S48.6.6	山口県文書館	個人蔵	
			38	徳川家康関係資料(73種一括)	S54.6.6	駿河区根古屋	久能山東照宮	
	歴史資料 考古資料		39	登呂遺跡出土品 附 土器片(775点)	H28.8.17	駿河区登呂五丁目	静岡市	
			40	有東木の盆踊	H11.12.21	葵区有東木	有東木芸能保存会	
	重要無形民俗文化財	無形民俗文化財	41	静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞楽	R4.3.23	葵区宮ヶ崎町	静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞楽保存会	
			42	登呂遺跡 (追加指定)	S27.11.22 S53.12.21	駿河区登呂五丁目	静岡市ほか	
史跡・名勝	史跡	43	賤機山古墳	S28.3.31	葵区宮ヶ崎町	(管理団体)静岡市		
		44	久能山	S34.6.17	駿河区根古屋ほか	久能山東照宮		
		45	片山麿寺跡 (追加指定)	S40.9.7 S49.5.13	駿河区大谷、片山、宮川	静岡市ほか		
		46	柴屋寺庭園 (追加指定)	S31.5.15 S45.8.11	駿河区丸子	柴屋寺(さいおくじ)		
		47	朝鮮通信使遺跡興津清見寺境内	H6.10.11	清水区興津清見寺町	清見寺		
		48	小島陣屋跡 (追加指定)	H18.7.28 H21.2.12	清水区小島本町	静岡市ほか		
		49	東海道守津ノ谷峠越	H22.2.22	駿河区宇津ノ谷	(管理団体)静岡市		
		50	三保松原	T11.3.8	清水区三保、折戸	(管理団体)静岡市		
	名勝	51	清見寺庭園	S11.9.3	清水区興津清見寺町	清見寺		
		52	臨濟寺庭園	S11.9.3	葵区大岩町	臨濟寺		
		53	日本平	S34.6.17	清水区草薙、村松、馬走	(管理団体)静岡市		
		54	柴屋寺庭園 (追加指定)	S11.9.3 S31.S45	駿河区丸子	柴屋寺		
		天然記念物	天然記念物	55	龍華寺のソテツ	T13.12.9	清水区村松	龍華寺
				56	ミヤコタナゴ(飼育)	S49.6.25	清水区折戸二丁目 (東海大学海洋学部)	東海大学海洋学部

指定文化財一覽

令和3年6月21日現在

県指定文化財							
種別	区分	番号	名称	指定年月日	所在地	所有者等	
有形文化財	建造物	57	清水寺観音堂	S31.5.24	葵区音羽町	清水寺	
		58	清水寺観音堂厨子	S31.5.24	葵区音羽町	清水寺	
		59	延寿院不動堂	S50.11.25	清水区追分三丁目	延寿院	
		60	光福寺本堂 附設計図	H5.12.21	清水区柏尾	光福寺	
	絵画	61	三十六歌仙懸額 青蓮院尊純法親王書 狩野探幽筆(18面)	S29.1.30	葵区宮ヶ崎町	静岡浅間神社	
		62	絹本着色大休和尚画像	S31.1.7	葵区大岩町	臨濟寺	
		63	千鳥図屏風(一双)	S32.5.13	葵区大岩町	臨濟寺	
		64	絹本着色穴山梅雪画像 伝土佐光吉筆	S38.4.30	清水区興津井上町	靈泉寺	
		65	紙本墨画達磨像	S49.4.18	清水区興津清見寺町	清見寺	
		66	紙本淡彩蛤蜊観音像	S49.4.18	清水区上清水町	禪叢寺(ぜんそうじ)	
		67	紙本墨画東照大権現像	S49.4.18	清水区上清水町	禪叢寺	
		68	三十六歌仙図額(36面)	H13.11.26	葵区宮ヶ崎町	静岡浅間神社	
		69	紙本墨画淡彩山水花鳥図押絵貼屏風	H15.12.5	清水区興津清見寺町	清見寺	
		70	東海道図屏風	H20.11.11	葵区紺屋町 静岡市美術館	静岡市	
	彫刻	71	木造不動明王立像	S31.10.17	葵区建徳(たきょう) 建徳観音堂	建徳自治会	
		72	舞楽面陵王	S56.3.16	清水区村松	鉄舟寺	
		73	木造千手観音菩薩立像	S57.2.26	清水区村松	鉄舟寺	
		74	木造千手観音立像 附木造二十八部衆立像及び木造風神雷神像28軀	H8.3.12	清水区大内	靈山寺	
		75	木造不動明王立像	H11.3.15	葵区建徳 建徳観音堂	建徳自治会	
		76	木造宝冠阿弥陀如来坐像	H11.3.15	清水区庵原町	一乗寺	
		77	木造吉祥天立像(伝弁財天立像)	H14.3.22	葵区羽鳥	龍津寺(りゅうしんじ)	
		78	木造足利尊氏坐像 附木造厨子	H15.12.5	清水区興津清見寺町	清見寺	
		79	木造千手観音立像 ほか3軀附1軀	H17.11.29	葵区井川 中野観音堂	観音堂別当	
		80	坂ノ上薬師堂諸像	H29.12.8	葵区坂ノ上	坂ノ上町内会	
		81	木造金剛力士立像 2軀	H30.12.11	清水区大内	靈山寺	
		新	木造文殊菩薩坐像	R4.4.1	清水区村松	鉄舟寺	
		工芸品	82	鉄山釜	S31.1.7	葵区大岩町	臨濟寺
			83	太刀 銘八幡大菩薩備州長船盛重	S31.10.17		個人蔵
			84	梵鐘	S31.10.17	清水区興津清見寺町	清見寺
			85	脇指 銘豊州住藤原友行作	S31.10.17		個人蔵
			86	長巻 無銘(伝吉岡一文字)	S31.10.17		個人蔵
			87	太刀 銘安綱	S31.10.17		個人蔵
			88	鰐口	S31.10.17	清水区茂畑	一溪寺
	89		太刀 銘備州長船景依	S32.5.13		個人蔵	
	90		太刀 銘長光	S33.4.15		個人蔵	
	91		刀 銘永禄七年八月日助宗作甲州住武田安芸守 信良望之	S33.4.15		個人蔵	
	92		刀 銘国廣	S33.4.15		個人蔵	
	93		鉄製釣燈籠	S33.4.15	清水区村松	海長寺	
	94		鰐口	S33.9.2	清水区大内	靈山寺	
	95		岩蒔絵文台及び硯箱	S34.4.14	葵区香谷	蓮永寺	
	96		太刀 銘備州長船則光	S36.3.28		個人蔵	
	97		刀 銘長曾弥興里入道虎徹	S36.3.28		個人蔵	
	98		短刀 銘景久	S36.3.28		個人蔵	
	99		太刀 銘国真(金象嵌)	S36.3.28		個人蔵	
	100		太刀 銘実阿	S36.3.28		個人蔵	
	101		太刀 無銘(伝兼長)	S37.6.15		個人蔵	
	102		太刀 無銘(伝行光)	S37.2.27		個人蔵	
	103		鰐口 銘文浅服浅間有衆奉納也仍如件	S38.2.19	葵区宮ヶ崎町 静岡市文化財資料館	浅間神社	
	104		刀 銘肥前国忠吉	S38.2.19		個人蔵	
	105		刀 銘義助作	S39.4.21		個人蔵	
	106		刀 銘 肥前国住人広則	S40.10.1		個人蔵	
	107		鰐口	S44.5.30	葵区安西四丁目	大林寺	
	108		鰐口	S50.11.25	葵区口仙保(白髭神社)	口仙保町内会	
	109		鰐口	S53.3.24	葵区紺屋町小梳神社	下町内会	
	110		紅糸威腹巻	H11.3.15	葵区宮ヶ崎町 静岡市文化財資料館	静岡浅間神社	
	111		静岡浅間神社古神宝類(30件)	H12.3.17	葵区宮ヶ崎町	静岡浅間神社	

書跡・典籍・古文書	112	鉄山和尚語録(4冊)	S31.1.7	葵区大岩町	臨濟寺	
	113	紙本墨書大般若経(折本)(600巻)	S33.4.15	駿河区大谷	大正寺	
	114	紙本墨書大般若経(旋風葉装折本)600巻	S33.4.15	清水区村松	鉄舟寺	
	115	紺紙銀字妙法蓮華経(折本)7巻	S33.4.15	清水区村松	海長寺	
	116	紙本墨書増壹阿曇経	S53.10.20	葵区羽鳥	龍津寺	
	117	日蓮葬送日記	H6.3.25	駿河区池田	本覚寺	
	118	麓山文庫(ごうざんぶんこ)	H13.11.26	清水区興津清見寺町	清見寺	
	歴史資料	119	清見寺朝鮮通信使関係資料 69点	H18.3.31	清水区興津清見寺町	清見寺
	考古資料	120	銅鐸	S31.1.7	清水区横砂東町 埋蔵文化財センター	静岡天満宮
		121	半兵衛奥古墳出土壺鏡一对附馬具一括	S52.3.18	清水区横砂東町 埋蔵文化財センター	個人蔵
		122	銅鐸	H12.11.17	清水区蒲原 県埋蔵文化財センター	静岡県
		123	三池平古墳出土遺物	H13.3.15	清水区横砂東町 埋蔵文化財センター	静岡市
		124	仁田館遺跡出土こけら経(867点)	H17.11.21	清水区蒲原 県埋蔵文化財センター	静岡県
		125	堂ヶ谷廃寺・堂ヶ谷経塚出土遺物一括	H27.12.8	清水区蒲原 県埋蔵文化財センター	静岡県
		126	清水天王山遺跡出土遺物一括(2205点)	H29.3.24	清水区横砂東町 埋蔵文化財センター	静岡市
		127	富士石遺跡出土土製装飾品	H29.12.8	清水区蒲原 県埋蔵文化財センター	静岡県
		128	中屋遺跡出土黒漆塗瓜文鞍1点、呪符木簡5点、ヤダケ1束	H31.3.26	清水区蒲原 県埋蔵文化財センター	静岡県
		129	梅ノ木沢遺跡出土斧型石器8点	R1.11.22	清水区蒲原 県埋蔵文化財センター	静岡県
130		原分古墳出土遺物一括	R2.3.27	清水区蒲原 県埋蔵文化財センター	静岡県	
無形文化財		工芸技術	131	金剛石目塗(蒔地)	H27.12.8	駿河区大坪町
民俗文化財	無形民俗文化財	132	清沢の神楽	S42.10.11	葵区清沢	清沢神楽保存会
		133	平野の盆踊	S53.10.20	葵区平野	平野文化財保存会
		134	日向の七草祭	S55.11.28	葵区日向	静岡市日向自治会
		135	草薙神社龍勢花火	H15.3.24	清水区草薙	草薙神社龍勢保存会
		136	ヤマメ祭	H17.11.29	葵区井川 田代	諏訪神社氏子会
		137	由比のお太鼓祭	H10.11.17	清水区由比町屋原	豊積神社 お太鼓祭り保存会
		138	手揉製茶技術	H22.12.3	葵区北番町	静岡県茶手揉保存会 茶匠会
		有形民俗文化財	139	もみ製茶関係器具類	S39.10.6	島田市金谷富士見町 ふじのくに茶の都ミュージアム
記念物	史跡	140	三池平古墳	H13.3.15	清水区原	静岡市
		141	神明山第1・4号古墳	H26.11.18	清水区袖師町	静岡市・神明神社
	名勝	142	木枯森	S29.1.30	葵区羽鳥	八幡神社
	天然記念物	143	家康手植のミカン	S25.3.14	葵区駿府城公園	静岡市
		144	石蔵院のお葉付イチョウ	S29.1.30	駿河区安居	石蔵院
		145	但沼神社のクス	S35.4.15	清水区但沼町	但沼神社
		146	チャ樹(やぶきた種母樹)	S38.4.30	駿河区谷田	静岡県
		147	黒俣の大イチョウ	S40.3.19		個人蔵
		148	慈悲尾のテンダイウヤク群落(7.46a)	S46.8.3		個人蔵
		149	小鹿神明社のクス	S52.3.18	駿河区小鹿	小鹿伊勢神明社
		150	大平のコウヤマキ	S60.11.29	清水区大平	林野庁東京営林局 (管理団体)静岡市

指定文化財一覽

令和4年4月1日現在

市指定文化財

種別	区分	番号	名称	指定年月日	所在地	所有者等		
有形文化財	建造物	151	新庄道雄の碑	S37.10.19	葵区紺屋町	小梳神社（おぐしじんじや）		
		152	養珠院供養塔	S38.8.8	葵区沓谷二丁目	蓮永寺		
		153	靈山寺本堂	S38.11.26	清水区大内	靈山寺		
		154	輪藏 一切経共	S41.6.30	清水区庵原町	一乗寺		
		155	瀬名郷倉及び附属番屋（2棟）	S47.9.14	葵区瀬名三丁目	西奈学区連合町内会		
		156	清見寺山門	S49.12.10	清水区興津清見寺町	清見寺		
		157	真珠院山門	S55.6.25	清水区梅ヶ谷	真珠院		
		158	御穂神社本殿 附棟札2枚 狛犬一对	H8.2.23	清水区三保	御穂神社		
		159	清見寺書院	S49.12.10	清水区興津清見寺町	清見寺		
		160	田代の一間造りの民家	H11.6.21	葵区田代	個人蔵		
		161	小島藩陣屋御殿	H13.1.10	清水区小島町	小島町自治会		
		162	高源寺本堂	H14.10.11	清水区高橋二丁目	高源寺		
		163	渡邊家土蔵（三階文庫）	H13.8.29	清水区蒲原	個人蔵		
		164	旧エンバーソン住宅	H21.8.28	駿河区池田	静岡市		
		絵画		165	宝永年間駿府鳥瞰図	S50.2.13	駿河区登呂3丁目	駿府博物館
				166	駿州用宗城墟眺望	S59.7.17	駿河区丸子	誓願寺
				167	靈山寺本堂天井龍図及び天女図3枚	H6.11.29	清水区大内	靈山寺
				168	寶珠護国禪師頂相	H8.2.23	清水区小島町	龍津寺
				169	紙本墨画達磨像	H10.4.10	清水区小島町	龍津寺
				170	絹本着色仏涅槃図	H14.2.7	清水区村松	海長寺
				171	絹本着色危年禪像	H23.3.23	葵区伝馬町	宝泰寺
				172	臨濟寺本堂障壁画	H28.11.30	葵区大岩町	臨濟寺
彫刻				173	松野阿弥陀堂仏像群（8体附2片）	S39.3.18	葵区松野	松野町内会
				174	木像菩薩坐像	S52.2.15	清水区村松	鉄舟寺
		175	木造狛犬	S55.2.21	葵区宮ヶ崎町 静岡市文化財資料館	千勝浅間神社		
		176	木造如意輪観音菩薩半跏像	H10.4.10	清水区蜂ヶ谷	善応寺		
		177	木造阿弥陀如来坐像 附銘札1枚巻物5巻	H10.4.10	清水区江尻東	江淨寺		
		178	木造毘沙門天立像	H10.4.10	清水区江尻町	法雲寺		
		179	木造聖観音菩薩立像	H10.4.10	清水区江尻町	法雲寺		
		180	木造釈迦如来坐像	H19.2.20	清水区興津清見寺町	清見寺		
		181	木造大日如来坐像	H20.3.26	葵区有東木	東雲寺		
		182	木造阿弥陀如来坐像	H21.4.30	清水区由比町屋原	最明寺		
		183	木造地藏菩薩坐像	H21.4.30	清水区由比町屋原	地持院		
		184	木造阿弥陀如来坐像	H22.3.30	葵区建徳	建徳自治会		
		185	木造伝大日如来坐像	H22.3.30	葵区建徳	建徳自治会		
		186	木造伝阿弥陀如来坐像	H22.3.30	葵区建徳	建徳自治会		
		187	木造阿弥陀如来立像	H23.3.23	葵区音羽町	清水寺		
		188	木造毘沙門天立像	H24.8.28	葵区南沼上三丁目	大安寺		
		189	木造千手観音立像	H26.3.30	葵区建徳	建徳自治会		
		190	木造阿弥陀如来立像	H27.1.29	葵区新通	善然寺		
		191	木造観音菩薩・勢至菩薩立像	H27.1.29	清水区元城町	宝久寺		
		192	木造釈迦如来坐像	H27.1.29	駿河区池田	本覚寺		
		193	木造徳川家康坐像	H30.7.18	葵区宮ヶ崎町	東雲神社		
		工芸品		194	掛仏（15面）	S37.9.17	清水区柏尾	光福寺
				195	釣燈籠	S37.9.17	清水区草薙	草薙神社
				196	鰐口	S37.9.17	清水区草薙	草薙神社
				197	旅茶草筒	S41.6.30	清水区今泉	楞嚴院 （りょうごんいん）
				198	須弥山儀（一括） 附世界大相図・天竺輿地図・閻浮提面皞日宮図	S41.6.30	清水区小島町	龍津寺
				200	猿面硯	S52.2.15	清水区興津清見寺町	清見寺
				201	梵字見台	S52.2.15	清水区興津清見寺町	清見寺
				202	横笛 附中村一氏添状	S52.2.15	清水区村松	鉄舟寺
203	御羽織屋紙衣胸 附関係資料（1着附5種14点）			S57.3.19	駿河区宇津ノ谷	個人蔵（御羽織屋）		
204	雲版			S63.2.19	葵区羽鳥	洞慶院（とうけいいん）		
205	御簾（2張）（みす）			S63.11.21	清水区三保	御穂神社		
206	御簾			H5.7.23	清水区上清水町	上清水八幡神社		
207	薙刀			H12.2.10	清水区庵原町	一乗寺		
208	唐草人物古代塗方盆			H2.12.21	清水区横砂東町 理蔵文化財センター	静岡市		
209	鰐口			H20.3.26	葵区井川	中野観音堂		
書跡・典籍・古文書				210	興津本陣宿帳	S37.9.17	清水区興津本町	個人蔵
		211	江尻本陣宿帳（8冊）	S38.7.18	清水区江尻町	個人蔵		
		212	大雅堂揮毫（きごう）看板	S38.7.18	清水区興津清見寺町	個人蔵		
		213	浦高札（船高札）	S38.7.18	清水区由比北田 静岡市由比文化財管理センター	静岡市		
		214	日海記（にっかいき）	S38.7.18	駿河区谷田 静岡県立美術館	海長寺		
		215	久能寺縁起	S39.4.6	清水区村松	鉄舟寺		
		216	歴代序略版木（6枚）	S41.6.30	清水区興津清見寺町	清見寺		
		217	静岡市別符家文書（20通）	S41.8.11	駿河区大谷	西敬寺		
		218	増善寺文書（12通附6通）	S46.1.20	葵区宮ヶ崎町 静岡市文化財資料館	増善寺		
		219	棟札（21枚）	S52.2.15	清水区蜂ヶ谷	蜂ヶ谷自治会		
		220	扁額「拈華山」 附書「拈華室」	H8.2.23	清水区小島町	龍津寺		
221	涅槃忌偈	H8.2.22	清水区小島町	龍津寺				

		222	寺尾家文書	H18. 3. 10	清水区横砂東町 埋蔵文化財センター	静岡市		
		223	満願寺文書	H18. 3. 10	駿河区小坂	安養寺		
		224	草谷文書	S47. 5. 9	清水区蒲原	個人蔵		
		225	志田文書	S47. 5. 9	清水区蒲原	個人蔵		
		226	武田家朱印状、武田家伝馬朱印状、徳川家諸役免許朱印状、徳川家伝馬掟朱印状（4通1巻）	S47. 5. 9	清水区蒲原	個人蔵		
		227	渡邊家文書	H17. 8. 18	清水区蒲原	個人蔵		
		228	清見寺文書（35点）	H23. 11. 17	清水区興津清見寺町	清見寺		
		229	駿府皮革職人間係文書	H28. 2. 5	清水区横砂東町 埋蔵文化財センター	静岡市		
考古資料		230	異形石鈿	S37. 9. 17	清水区柏尾	個人蔵		
		231	神明山第4号古墳出土品（一括）	S44. 7. 1	清水区袖師町	静岡市		
		232	伝駿河国分寺の塔心礎	H7. 1. 23	葵区香谷	菩提樹院		
		233	室ヶ谷古墳群出土品	H25. 5. 8	清水区横砂東町 埋蔵文化財センター	静岡市		
歴史資料		234	教導石	S59. 7. 17	葵区追手町（県道歩道内）	静岡市		
		235	丸子の天和の高札（3枚）	S60. 9. 17	駿河区北丸子二丁目	丸子戸ノ谷町内会		
		236	白隠関連資料（一括）	H8. 2. 23	清水区小島町	龍津寺		
		237	駿府城二ノ丸東御門の青銅製鯨	H9. 4. 23	葵区駿府城公園（東御門）	静岡市		
		238	建徳寺関係歴史資料（3種6点）	H11. 6. 21	葵区新聞	見性寺（けんしょうじ）		
		239	西郷局関係資料	H15. 2. 21	葵区常磐町二丁目	宝台院		
		240	清水寺・長谷寺・泉動院・国分寺関係資料	H15. 2. 21	葵区音羽町	清水寺		
		241	旧久能寺歴史資料（一括）	H17. 2. 10	清水区村松	鉄舟寺		
民俗文化財	有形民俗文化財	242	安西五丁目秋葉山常夜燈	S59. 8. 21	葵区安西五丁目	安西五丁目町内会		
	無形民俗文化財	243	中町秋葉山常夜燈	S59. 8. 21	葵区馬場町	秋葉山中町常夜燈保存会		
		244	親王囃	S52. 3. 15	清水区但沼町	親王囃保存会		
		245	静岡浅間神社の節分行事	S61. 1. 22	葵区宮ヶ崎町	静岡浅間神社		
		246	梅ヶ島の舞	S63. 2. 19	葵区梅ヶ島	梅ヶ島新田神楽保存会		
		247	有東木の神楽	H15. 2. 21	葵区有東木	有東木芸能保存会		
記念物	史跡	248	大店国師産湯の井	S37. 10. 19	葵区井宮町	安南寺		
		249	寿桂尼墓所	S37. 10. 19	葵区香谷三丁目	竜雲寺		
		250	臨濟寺今川家の墓所	S37. 10. 19	葵区大岩町	臨濟寺		
		251	壮士の墓	S38. 7. 18	清水区築地町	静岡市		
		252	列祖殿址の碑	S40. 2. 2	清水区岡町	岡町八幡神社		
		253	万霊塔碑	S41. 6. 30	清水区松井町	稲荷神社		
		254	西郷・山岡会見の地	S42. 7. 12	葵区伝馬町	個人蔵		
		255	天王山遺跡 （追加指定）	S44. 7. 1 R3. 4. 9	清水区宮加三	静岡市		
		256	梶原景時ゆかりの地	S61. 1. 23	清水区大内	保蟹寺（ほかいじ）		
		257	諏訪神社古墳（宮川古墳群4号墳）	H9. 4. 23	駿河区大谷	諏訪神社		
		258	蒲原城址	S53. 3. 1	清水区蒲原	静岡市 外		
		名勝		259	伊佐布北滝	S37. 9. 17	清水区伊佐布	安隠寺
				260	薩埵峠（さつたとうげ）	S37. 9. 17	清水区興津東町	静岡市
				261	龍華寺庭園	S37. 9. 17	清水区村松	龍華寺
		天然記念物		262	大樟（5本）	S37. 9. 17	清水区岡町	八幡神社
			263	臥龍梅	S37. 9. 17	清水区興津清見寺町	清見寺	
			264	大樟	S37. 9. 17	清水区草薙	草薙神社	
			265	大公孫樹（おおいちょう）	S37. 9. 17	清水区駒越	清水農協	
			266	サボテン	S37. 9. 17	清水区村松	龍華寺	
			267	李左エ門の大アカガシ	S37. 10. 19	葵区水見色	個人蔵	
			268	ちりめんかえで	S38. 7. 18	清水区小島町	小島小学校	
			269	大樟	S40. 2. 2	清水区淡島町	淡島神社	
			270	大樟	S40. 2. 2	清水区上清水町	上清水八幡神社	
			271	大樟	S44. 7. 1	清水区中之郷二丁目	熊野神社	
			272	丸子谷津神社のクスノキ	S47. 2. 15	駿河区丸子	谷津神社	
			273	若宮八幡宮の大クス	S50. 12. 18	葵区浅間町一丁目	八幡宮	
			274	大クス	S52. 2. 15	清水区承元寺町	八幡神社	
	275		大クス	S52. 2. 15	清水区村松原二丁目	稲荷神社		
	276		タブ	S52. 9. 22	清水区草ヶ谷	大乘寺		
	277		椰	S53. 8. 24	清水区梅ヶ谷	真珠院		
	278		みかん	S53. 8. 24	清水区吉原	個人蔵		
	279		大マキ	S54. 11. 29	清水区岡町	岡町八幡神社		
	280		大クス	S54. 11. 29	清水区桜橋町	稲荷神社		
	281	夏みかん（2本）	S55. 6. 25	清水区梅ヶ谷	個人蔵			
	282	河内の大石	S58. 2. 24	清水区河内（こうち）	個人蔵			
	283	誓願寺モリアオガエル繁殖地	S58. 9. 20	駿河区丸子	誓願寺			
	284	椎	S61. 2. 20	清水区宍原（ししはら）	個人蔵			
	285	杉	S63. 1. 21	清水区吉原	個人蔵			
	286	郷島浅間神社の大クス	H7. 1. 23	葵区郷島	浅間神社			
	287	由比入山摩利支天堂のタブノキ	H21. 4. 30	清水区由比入山	船場地区			
	288	瀬名幕ヶ谷のヤマモモ	H24. 8. 28	葵区瀬名六丁目	個人蔵			
	289	有東木白髭神社の大スギ群	R2. 9. 1	葵区有東木	白髭神社 外			

指定文化財一覧

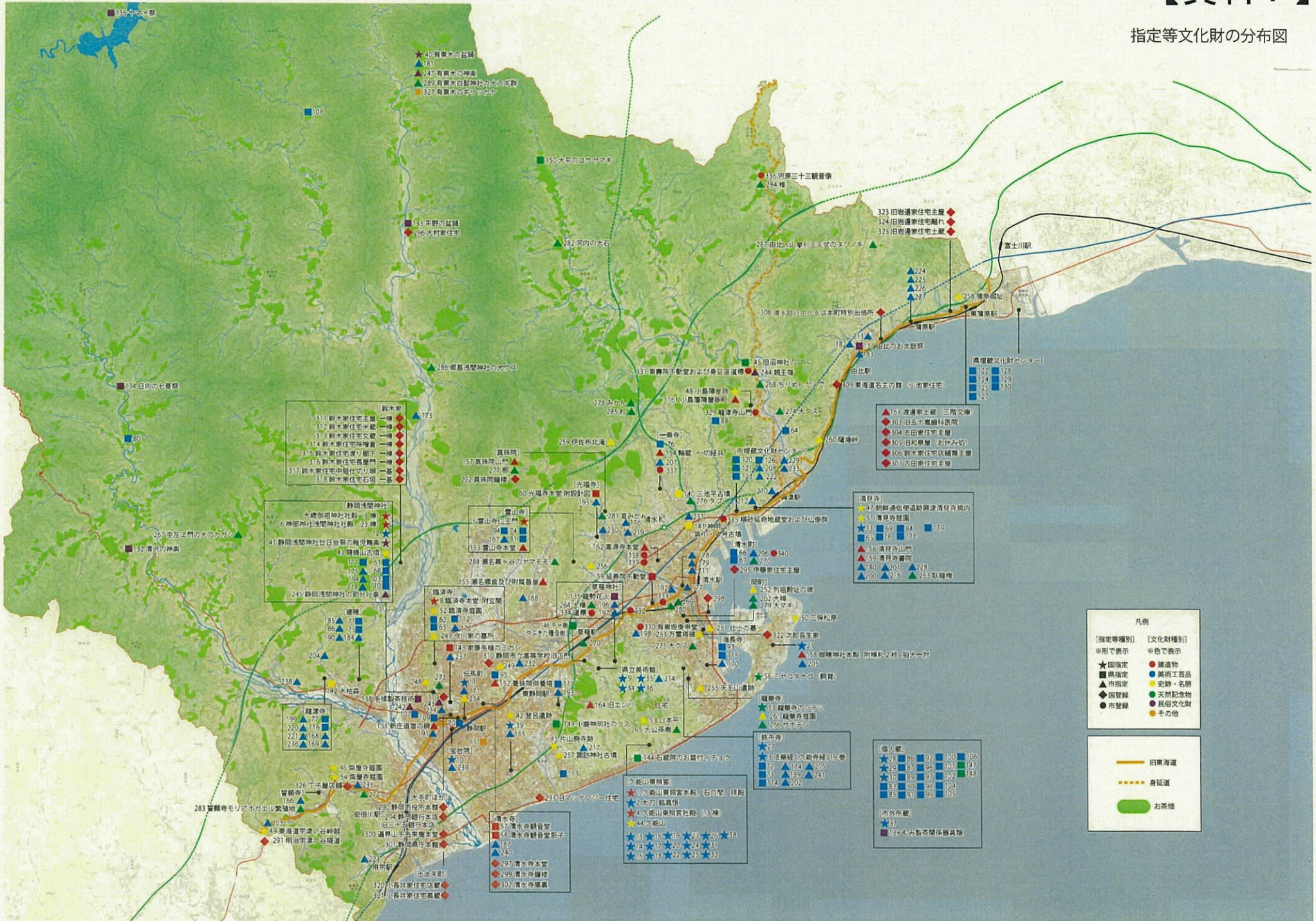
令和4年2月17日現在

登録有形文化財 (国)				
番号				
290	静岡市役所本館	H8. 12. 20	葵区追手町	静岡市
291	明治宇津ノ谷隧道	H9. 5. 7	駿河区宇津ノ谷	静岡市
292	真珠院鐘楼	H9. 7. 15	清水区梅ヶ谷	真珠院
293	旧マッケンジー住宅	H9. 12. 12	駿河区高松	静岡市
294	静岡銀行本店 (旧三十五銀行本店)	H10. 4. 21	葵区呉服町一丁目	静岡銀行
295	伊藤家住宅主屋	H10. 9. 2	清水区上清水町	個人蔵
296	大村家住宅	H11. 2. 17	葵区平野	個人蔵
297	清水寺本堂	H11. 6. 7	葵区音羽町	清水寺
298	清水港テルファー	H12. 2. 15	清水区新港町	静岡県
299	清水寺鐘楼	H12. 4. 28	葵区音羽町	清水寺
300	遍界山不去来庵本堂	H12. 12. 4	葵区両替町一丁目	個人蔵
301	静岡県庁本館	H13. 4. 24	葵区追手町	静岡県
302	清水寺庫裏 (くり)	H13. 11. 20	葵区音羽町	清水寺
303	旧五十嵐歯科医院	H12. 9. 26	清水区蒲原	静岡市
304	志田家住宅主屋	H13. 8. 28	清水区蒲原	個人蔵
305	旧和泉屋 (お休み処)	H18. 11. 29	清水区蒲原	静岡市
306	鈴木家住宅店舗兼主屋	H18. 11. 29	清水区蒲原	個人蔵
307	吉田家住宅主屋	H18. 11. 29	清水区蒲原	個人蔵
308	清水銀行由比支店本町特別出張所	H9. 9. 16	清水区由比	清水銀行
309	東海道名主の館 (小池家住宅)	H10. 10. 26	清水区由比寺尾	静岡市
310	静岡市立高等学校旧正門	H21. 11. 19	葵区千代田	静岡市
311	鈴木家住宅主屋 一棟	H22. 2. 3	葵区中ノ郷	個人蔵
312	鈴木家住宅米蔵 一棟	H22. 2. 3	葵区中ノ郷	個人蔵
313	鈴木家住宅文蔵 一棟	H22. 2. 3	葵区中ノ郷	個人蔵
314	鈴木家住宅味噌倉 一棟	H22. 2. 3	葵区中ノ郷	個人蔵
315	鈴木家住宅渡り廊下 一棟	H22. 2. 3	葵区中ノ郷	個人蔵
316	鈴木家住宅長屋門 一棟	H22. 2. 3	葵区中ノ郷	個人蔵
317	鈴木家住宅中庭仕切り塀 一基	H22. 2. 3	葵区中ノ郷	個人蔵
318	鈴木家住宅石垣 一基	H22. 2. 3	葵区中ノ郷	個人蔵
319	旧静岡英和女学院院長住宅主屋	H28. 2. 25	葵区西草深町	個人蔵
320	小長井家住宅店蔵	H28. 2. 25	葵区土太夫町	個人蔵
321	小長井家住宅奥蔵	H28. 2. 25	葵区土太夫町	個人蔵
322	次郎長生家 (旧高木家住宅)	H30. 3. 27	清水区美濃輪町	静岡市
323	旧岩邊家住宅主屋	R元. 9. 10	清水区蒲原新田	個人蔵
324	旧岩邊家住宅離れ	R元. 9. 10	清水区蒲原新田	個人蔵
325	旧岩邊家住宅土蔵	R元. 9. 10	清水区蒲原新田	個人蔵
326	丁子屋店舗	R4. 2. 17	駿河区丸子7丁目	有限会社 丁子屋

地域登録文化財 (静岡市)					
地域伝統文化	327	有東木のギリッカケ	H11. 4. 21	葵区有東木	有東木子供会
	328	小河内のヒヨンドリ	H11. 4. 21	葵区小河内	ひよんどり保存会
	329	龍津寺山門	H15. 1. 16	清水区小島町	龍津寺
	330	有東坂庚申堂	H15. 1. 16	清水区有東坂	誓願寺
建造物	331	東壽院不動堂および身延道道標	H15. 1. 16	清水区但沼	東壽院
	332	吉川八幡神社旧鳥居	H15. 1. 16	清水区吉川	八幡神社
	333	しみず道道標	H15. 1. 16	清水区追分	個人蔵
	334	草薙神社道標	H15. 1. 16	清水区草薙	草薙神社
	335	横砂延命地藏堂および仏像群	H15. 1. 16	清水区横砂東町	東光寺
	336	宍原三十三観音像	H15. 1. 16	清水区宍原	個人蔵
	337	一乗寺延文四年銘石塔地輪	H15. 1. 16	清水区庵原町	一乗寺
	338	高源寺梶原一族供養碑	H15. 1. 16	清水区高橋二丁目	高源寺
	339	山梨家梶原一族供養塔群	H15. 1. 16	清水区高橋	個人蔵
工芸	340	扁額「爪牙窟」	H15. 1. 16	清水区上清水町	禅叢寺

【資料 7】

指定等文化財の分布図



凡例

【指定等種別】	【文化財種別】
★国指定	●建造物
▲県指定	●美術工芸品
▲市指定	●史跡・名勝
◆国登録	●天然記念物
●市登録	●民俗文化財
	●その他

—	旧東海道
---	身延道
○	お茶畑

【個人】

28	86	90	100	105
29	87	94	101	147
30	89	93	102	148
31	89	93	102	148
32	174	235		
33	189	241		
34	194	202		

【市外所蔵】

37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				
101				
102				
103				
104				
105				

【市外所蔵】

37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				
101				
102				
103				
104				
105				

静岡市の主な取組について ー文化財部局以外の主な事業ー

【資料8】

No.	所属名	実施		実施・予定 年度	事業名・取組名	事業内容	対象地域	事業主体	備考
		実施中	予定						
1	観光交流文化局 文化振興課	○		平成18年度～	伝統文化ワークショップ	・親子が気軽に伝統文化に触れる機会を創出するため、茶道や事、日本舞踊や能楽、落語などの日本古来の伝統芸能について、入門編のワークショップを開催する。 ・会場は静岡市民文化会館を中心に開催し、2日間午前・午後の計4回行う。	全域	文化振興課	委託事業であるため、(公財)静岡市文化振興財団が企画・運営している。
2	観光交流文化局 文化振興課	○		令和3年度～	文化芸術アウトリーチ事業	・こども園や放課後児童クラブ、適応指導教室などを対象に文化芸術を届けるアウトリーチ事業を開催する。 ・事や和太鼓などの伝統的な楽器等を用いたコンサートを通じ、伝統芸能に興味関心を抱く人材を育成する。	全域	文化振興課	委託事業であるため、(公財)静岡市文化振興財団が企画・運営している。
3	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		令和2年度～	お堀の水辺(葵舟)活用事業	歴史文化の拠点づくり事業として実施。 駿府城公園周辺エリアにおける新たな歴史観光コンテンツとして運営中。	葵区	観光・MICE推進課	
4	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		平成28年度～	東海度歴史街道まち歩き推進事業	1 駿河東海道おんぱく(H28～) 市内2峠6宿の文化・歴史・食などの地域資源を体験プログラムとするイベントの開催。(R3実績:10/15～11/27、48プログラム) 2 東海道ご縁めぐりスタンプラリー(H29～) 市内2峠6宿の観光スポット等(15箇所)に設置したスタンプを巡る周遊促進事業。	全域	観光・MICE推進課	
5	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		令和2年度～	駿州の旅日本遺産推進事業	1 ガイド養成 「駿州の旅日本遺産」ならではのガイド方式として、各宿場のガイド団体が引継ぎながら広域的なガイドを行う体制整備及び専門ガイドの養成。 2 商品開発 オリジナルブランド「駿州堂」を用いた地元飲食店・土産物店による商品開発の支援。 3 普及啓発 シンポジウムや小学校での出前講座等	全域	観光・MICE推進課	
6	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		令和3年度～	食文化・自然等を活用した街道観光プロモーション事業	1 日本橋しずおか食堂 「しずおか中部連携中枢都市圏」事業。各市町の特産品を用いたメニューを東京日本橋の老舗飲食店が開発し、期間限定で販売する。(R3実績:11/11～12/10、参加店舗18)	全域	観光・MICE推進課	
7	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		平成18年度～	蒲原宿場まつり補助金	「蒲原宿場まつり&産業フェア」の開催支援	清水区	観光・MICE推進課	
8	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		平成19年度～	かんばら御殿山さくらまつり補助金	「かんばら御殿山さくらまつり」の開催支援	清水区	観光・MICE推進課	
9	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		平成21年度～	由比街道まつり補助金	「由比街道まつり」の開催支援	清水区	観光・MICE推進課	
10	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		平成19年度～	かんばらまつり開催事業補助金	「かんばらまつり」の開催支援	清水区	観光・MICE推進課	
11	観光交流文化局 観光・MICE推進課	○		平成24年度～	丸子宿場まつり開催事業補助金	「丸子宿場まつり」の開催支援	清水区	観光・MICE推進課	
12	都市局 建築部 建築総務課	○		平成14年～	重点地区内景観形成行為助成金制度	重点地区内における良好な景観の形成に寄与すると認められる活動を行う個人又は団体に対して、予算の範囲内において助成金を交付する。(現在、宇津ノ谷地区に限る)	駿河区	建築総務課	
13	都市局 建築部 建築総務課	○		平成20年～	景観計画 地域景観資源の保全・活用	歴史を感じさせる建築物等やシンボリックな樹木といった良好な景観を形成する重要な資源を、法に基づく「景観重要建造物・樹木」や条例に基づく「地域景観資源」に位置づけ、その保全と活用を図る。	全域	建築総務課	
14	都市局 建築部 建築総務課	○		平成20年～	景観計画重点地区の指定	特に重点的に景観形成に取組むべき地区を「重点地区」に位置付け、地区独自の景観形成の目標や方針、景観形成基準などを定め、地区の景観資源や個性を活かした景観形成に取り組む。	全域	建築総務課	
15	経済局 商工部 産業政策課	○		令和元年～	伝統工芸技術アーカイブス事業	市内の伝統工芸業界で後継者が不在で存続の危機にある高い技術を映像や工程品、完成品の買上げ等でアーカイブする	全域	産業政策課	
16	市民局 生涯学習推進課	○			生涯学習施設における歴史講座実施	・生涯学習施設において、静岡市の地域歴史や文化財、地域特産物などを題材にした講座を実施する。	全域	指定管理者	実施する講座の内容は指定管理者へ委ねているため、毎年この計画に関連する講座を実施できるとは限らない。
17	経済局 農林水産部 農業政策課	○			駿府本山お茶まつり事業補助金	大御所徳川家康公が熟成させたお茶の香り高い味を楽しんだという故事にならい、はるから秋にかけてその故事を再現する一連イベントを実施することで、静岡本山茶をはじめとするお茶の振興と消費拡大を図るため、事業主体に対し、事業費を助成する。 【年間スケジュール】 5月下旬頃・・・「茶詰めの儀」 10月下旬頃・・・「道中行列・口切りの儀」 11月上旬頃・・・「秋のお茶まつり」	葵区	駿府本山お茶まつり委員会 (事務局:JA静岡市営農課)	静岡市は当委員会の構成団体として参画
18	経済局 農林水産部 農業政策課	○			茶手揉保存事業補助金	静岡県の民俗文化材・無形文化材に指定されている「手揉製茶」の技術の向上、後継者の育成、文化の継承又は普及啓発に資すると認められる事業を実施する団体に対して、事業費を助成する。	全域	静岡市茶手揉保存会	
19	経済局 農林水産部 農業政策課		○		静岡市献上茶謹製事業	静岡県の民俗文化材・無形文化材に指定されている「手揉製茶技術」を用いてお茶を謹製し宮内庁へ献上することで、「手揉製茶技術の保存及び向上」を推進し、併せて「お茶のまち静岡市」の認知向上を図る。	全域	静岡市 JA静岡市、JAしみず 静岡県茶手揉保存会 静岡市歴史博物館	共催
20	経済局 農林水産部 農業政策課	○			聖一國師顕彰事業	静岡茶の祖と呼ばれる静岡出身の高僧「聖一國師」の偉大な功績を広くPRし、その偉業を後世に伝えるため、水磨様模様の展示や水汲みの儀・博多祇園山笠等へ参画する。	葵区	聖一國師顕彰会 (静岡商工会議所)	
21	議会事務局 調査法制課	○		平成22年～	議場見学	・見学者に対し議場を案内しながら、建物の歴史や議会制度について説明し、市議会への興味、関心を高める。	全域	調査法制課	

文化財サポーター制度について

【これまでの文化財サポーター（H25-R3）】

文化財サポーターとは

- 静岡市の文化財を未来につなぐために活動する市民ボランティア
- 文化財の保存活用の必要性を理解し、文化財の素晴らしさを皆さんに伝え、保存と活用のために、行政と協働していただける人材

直近5年のサポーター推移

	H29	H30	H31	R2	R3
定員	30	20	20	20	20
申込数	22	29	15	17	17
修了生数	19	22	14	14	16

修了生 計163人（うち活動率30%程度）

※令和3年度時点

【主な活動内容】

活動名	活動内容	活動人数
展示補助員	歴史博物館プレ展示補助	5名
賤機山ボランティア	賤機山古墳ガイド	5名
文化清掃（柴屋寺）	柴屋寺の清掃	8名
お手植えみかん収穫	お手植えみかんの収穫補助	25名
発掘情報館「きゃっしる」	駿府城跡天守台ガイド	9名
合計		52名

【文化財サポーター制度の現状課題】

- ・ 毎年募集しているため母数は増加傾向にあるが、実活動に結びついていない。
- ・ 市による活動機会の提供のみに活動が限られているため、活動回数が限られる。
- ・ 現時点において、能動的活動の実施ができる体制がない。

登呂博物館・三保松原・歴史博物館のボランティアについて

【登呂博物館ボランティア】

活動概要	登録者数	活動頻度
◎1階弥生体験展示室での体験サポート ◎2階常設展示室での説明 ◎野外での遺跡ガイド ◎各種体験の補助	47人	年間約300日 (登呂博物館開館日)

【三保松原】

三保の松原では複数の団体が多様な形で文化財の保全等の活動を行っている。
この他にも、多くの団体や企業の皆さんが清掃活動を行い、美しい三保松原の保全の一端を担っていただいている。

活動団体	活動概要	人数	活動頻度
三保ビーチクリーンプロジェクト	海岸清掃	20人程度	月1回
チームつながり	海岸・道路清掃	20人程度	月1回
三保つるの会	松原保全、道路清掃	5人程度	ほぼ毎日
三保松原3Ringsプロジェクト	松原保全	20人程度	毎週土曜日
三保地区ボランティアガイド 三保の松原案内人	ガイド	10人程度	ガイドの要望に応じて対応

登録者数・人数は令和4年4月1日時点の状況です。

【歴史博物館ボランティア】

静岡市歴史博物館のスタッフと一緒に来館者に歴史の見方や面白さを紹介し、興味や関心を高める支援を行っていただく。自身の興味関心に沿った自主的学習やボランティア活動を通じて、ボランティア自身が博物館とともに成長していくことを目指す。

活動概要	応募者数	備考
◎館内展示の案内など、来館者とのコミュニケーション ◎小中学校の見学、館内イベント等の開催サポート ◎企画展の開催等に合わせた勉強会 ほか	71人	R4.10.23 説明会 11月以降に研修会を実施

静岡市の主な取組について —文化財部門の主な事業—

1 文化財保存活用地域計画策定事業（令和4～6年度事業）

2 文化財の調査、整備、管理及び活用に関する事業

(1) 三保松原保全活用事業

① 三保松原の保全

- ・マツ材線虫病の防除、老齢大木の倒伏防止と樹勢回復の実施
- ・松原再生のための三保由来のマツ苗の育成や日常的管理の実施
- ・三保松原の保全研修、保全ボランティア団体と連携した活動の実施

② 三保松原の活用

- ・松原活用の推進のための松原総合情報サイトやSNSなどによる情報発信
- ・各種団体との協力による、三保松原の魅力を発信するイベントの開催

③ 三保松原の保全活用の方針決定と地域との協働

専門家の助言、県市による保全方針の決定、地域住民と関係行政機関の協働・情報共有のための会議等の実施

(2) 国指定史跡片山廃寺跡保存整備事業

① 駿河国の国分寺（推定）片山廃寺跡の公有地化（対象は指定地42,387㎡）

② 遺構確認のための発掘調査の実施

(3) 国指定史跡小島陣屋跡保存整備事業

① 瀧脇松平家4代信治が宝永元年（1704年）に構えた小島藩の陣屋跡の保存整備

② 市指定の御殿建物を解体して史跡内への移築復原の実施

(4) 県指定天然記念物「家康手植のミカン」の管理活用事業

(5) 国登録有形文化財「旧マッケンジー住宅」再生活活用事業

- ・「旧マッケンジー住宅」の耐震化と保存修理の実施
- ・民間活力の導入による文化財的価値を活かした利活用の推進

(6) 駿府城跡天守台発掘調査見える化事業

発掘現場の公開や「発掘情報館きゃっしる」での展示等の実施

(7) 駿府城天守台野外展示事業

- ① 天守台発掘調査で発見された二つの天守台を見学、体感するための野外展示施設の整備
- ② 発掘された天守台の石垣の保存修復の実施

3 歴史文化の顕彰等の事業

(1) 駿府九十六ヶ町町名碑設置事業

(2) 徳川家康公顕彰事業をはじめとする歴史文化のまちづくりの推進

- ① 「徳川みらい学会」との共催による講演会等の実施
- ② 家康公にゆかりのある他都市と連携した家康公顕彰事業の実施
- ③ 家康公の平和外交の象徴である朝鮮通信使に関する事業の実施

(3) 地域文化の担い手育成事業

- ① 文化財サポーターの育成（令和3年度末登録者163名）
- ② 無形民俗文化財公開事業（大神楽祭：浅間神社の舞殿での神楽の公開）

4 文化財発掘調査事業（民間の開発対象地の発掘調査及び出土資料の整理業務）

5 文化財保存助成事業（有形・無形の指定文化財の保存修理や公開事業等に対する補助金）
※この事業で保存修理を行った文化財を中心に、毎年、秋に文化財の特別公開事業を実施

6 文化財関係施設等の管理運営事業

(1) 歴史文化施設建設・管理運営事業

- ① 静岡市歴史博物館の建設
- ② 博物館の展示で活用するための歴史資料の購入及び資料調査の実施
- ③ 博物館で展示する古文書や遺物等の複製製作
- ④ 展示室に資料を設置する演習作業の実施
- ⑤ 博物館の広報や運営準備、企画展の準備などの実施

(2) 三保松原文化創造センター（みほしるべ）

- ① 常設展示及び企画展の実施
- ② 三保松原保全活用事業（I-1-(2)）の実施
- ③ 世界文化遺産富士山の構成資産、国指定名勝三保松原の管理活用

(3) 登呂博物館

- ① 特別史跡登呂遺跡の出土遺物をはじめとする資料の適切な保管
- ② 常設展示及び企画展の実施
- ③ 講演会及び講座等の教育普及活動の実施
- ④ 特別史跡登呂遺跡の管理活用

(4) 埋蔵文化財センター

- ① 埋蔵文化財について、資料整理作業や保存処理作業、適切な保管・管理を実施
- ② 埋蔵文化財等の常設展示及び企画展示の実施

(5) 駿府城エリア内の施設の管理運営

駿府城公園東御門・巽櫓、坤櫓、日本庭園及び茶室

(6) 市所有・管理の史跡や文化財建造物の公開活用

- ① 史跡：登呂遺跡、賤機山古墳、小島陣屋跡、三池平古墳、天王山遺跡、蒲原城址
- ② 建造物：旧エンバーソン住宅、旧マッケンジー住宅、旧五十嵐歯科医院、旧和泉屋（お休み処）、小池家住宅、次郎長生家、小島藩陣屋御殿（移築復元中）

【資料 1 1】

静岡市文化財リスト：文化財の整理

文化財区分 1	文化財区分 2	文化財区分 3	内容
有形文化財	建造物	寺院	本堂、書院、山門
		神社	本殿、拝殿、社務所
		住宅等	農家、町家、漁家、郷倉
		近代建築	
		土木構造物	
		石造物	道標、鳥居
	美術工芸品	絵画	仏画
		彫刻	仏像、神像
		工芸品	鰯口
		書籍・典籍	
		石造物	地藏、道祖神、五輪塔、灯籠、狛犬
		古文書	
		考古資料	出土品
		歴史資料	
無形文化財	工芸技術	伝統工芸、プラスチックモデル、諸職	
	地場産業		
	郷土食		
民俗文化財	有形民俗文化財	衣食住	
		生産・生業	漁業、農業
		信仰	力石、絵馬
	無形民俗文化財	風俗慣習	年中行事、祭礼行事、信仰
		民俗芸能	神楽、民謡、舞、踊り
		民俗技術	
		民話・伝説	
		生活文化	在来作物など
記念物	遺跡	記念碑	句碑、人物碑、記念碑
		墓所	中近世墓所
		街道跡	一里塚、道標、旧道、峠、並木
		施設跡	本陣・陣屋跡、住居跡、石丁場跡
		伝承地	
	名勝地		景勝地、渓谷、丘陵、清水、庭園、公園
	動物・植物・地質 鉱物	動物	
		植物	
		地質鉱物	
	文化的景観	農漁業	焼畑、お茶、ワサビ、桜エビ漁
伝統的建造物群	街道（宿場町）		
	農村		
	漁村		
埋蔵文化財	集落跡	集落跡、生産遺跡、窯跡、水田、包含地、散布地	
	古墳・墳墓	古墳、横穴墓	
	城館跡	城跡、館跡	
	社寺跡	寺院跡、神社跡、経塚	
	その他の遺跡		
文化財の保存技術			
歴史の道		東海道、身延街道、峠	
人物		人物碑、生家、墓所、伝承地、文学碑	
その他		現代の施設、お祭り	

文化財リストの項目

名称	文化財の名称
文化財区分	区分1～3
指定等	指定、登録など
地域	葵区／駿河区／清水区（旧清水市）／清水区（旧蒲原町）／清水区（旧由比町）
所在地	住所
時代	原始古代、中世、近世、近代、現代、不明
年号等	和暦・西暦（明確になっているもの）
備考等	特記じこうなど
参考文献等	抽出した際の文献等

その他の団体に対するヒアリング調査実施計画（案）

1 実施概要

本計画では、指定・未指定に関わらない幅広い文化財を把握し、静岡市の歴史文化の特徴を活かした措置を構築する。また、措置は行政だけでなく、現在、市内で活動されている市民や民間団体等と協働で、地域総がかりで行うことで、伝える体制の構築を図り、文化財の存続につなげていくことを目指す。

下記を目的として、既に取り組んでいる方や今後の地域の担い手として期待される方々等を対象としてヒアリングを実施する。

- ①市で把握できていない地域で大切にされている文化財（未指定）の把握
- ②地域における文化財の保存・活用に関する実態の把握（取組状況、課題、など）
- ③関係者の意向把握による、多主体の協働による取組・事業の構築

2 対象

各地区の代表、郷土史研究、地域の専門家（ヘリテージなど）、活動団体、ボランティア団体、文化財所有者・保存会、など

※10～15 団体程度を予定しているが、地域の団体の活動状況に関する把握の状況に応じて実施する。

3. 実施時期

令和4年11月～ 適宜

4. ヒアリング項目

- ・地域で大切にされている歴史文化遺産（未指定文化財）について
- ・活動状況（団体の概要、活動の対象、実施状況、など）
- ・現在の取組の課題
- ・今後の取組について
- ・関連する市内の取組（他団体）
- ・その他

市民ワークショップ実施計画（案）

1 目的

本計画では、市民に文化財を身近なものとして再認識してもらうとともに、多くの市民の保存・活用への参加を促進し、地域総がかりによる保存・活用へ取り組むことを目指す。

身近な文化財についての理解を深めるとともに、市民にとって興味・関心を持ちやすく、参加が促進されるような、保存・活用の具体的な取組（措置）を引き出すことを目的にワークショップを実施する。

ヒアリング等を実施する活動団体や文化財サポーターと連携することで、具体的な措置の構築、協働による推進体制の構築、関係者・市民等の機運を高めることを目的とする。

まちあるきや施設見学などのプログラム、地域の特徴にあわせた具体的なテーマ設定を行うことで、具体的な意見を引き出す。

2 対象

公募など（各回 20～30 人程度）

※これまで地域で活動されている方などの参加を促す

3 実施時期・回数

令和 5 年 4～7 月、6 回

4 実施内容

実施する地区や具体的なプログラムは、R4 年度の検討内容（関連文化財群・文化財保存活用区域の設定など）をもとに検討する。